

いわき明星大学
「学修行動調査 2017」調査報告書

教務委員会

目次

平成29 年度 学修行動調査報告	1
学修行動調査【全学部】集約資料分析	3
大学における学習状況について（全学部）	
設問2（1）	6
設問2（2）	9
設問2（3）	12
設問2（3） バブルグラフ	15
設問2（4）	16
平成29 年度 学修行動調査(教養学部)	
「学修行動調査結果に対する考察」教養学部の特徴	20
大学における学習状況について（教養学部）	
設問2（1）	22
設問2（2）	25
設問2（3）	28
設問2（3） バブルグラフ	31
設問2（4）	32
いわき明星大学「学修行動調査2017」薬学部（2016 年度との比較）	36
大学における学習状況について（薬学部）	
設問2（1）	38
設問2（2）	40
設問2（3）	42
設問2（3） バブルグラフ	45
設問2（4）	46
2017年 学修行動調査 看護学部考察	49
大学における学習状況について（看護学部）	
設問2（1）	51
設問2（2）	54
設問2（3）	57
設問2（3） バブルグラフ	60
設問2（4）	61

【付録】

いわき明星大学「学修行動調査2017」－全学部－

大学に入学する前や高校時代のことについて（1 年生のみ）

設問1（1）	65
設問1（2）	65
設問1（3）	65
設問1（4）	65

大学の学びに関する満足度について

設問3（1）	68
設問3（2）	70

英語の学習状況について

設問4（1）	72
設問4（2）	74
設問4（3）	74
設問4（4）	75
設問4（5）	75

平成 30 年 7 月 23 日

平成 29 年度学修行動調査報告

教務委員会

委員長 菊池雄士

本学アセスメント・ポリシーに基づく学生調査の一環として、下記のように平成 29 年度学修行動調査を実施した。なお、本学では「学生調査の実施に関する方針」の中で、学修行動調査を次のように位置づけている。

学修行動調査

学生の主体的な学修時間を実質的に増加させ、学びの成果につなげること、学びの成果を実質化することを目的とし、学生の学びの実態を把握する。なお新入生調査および上級生調査により、「生涯学び続け、主体的に考える力」を意味する主体的な学修態度が醸成されるよう、現状の分析と推移を検証し、学士課程教育の改善をはかるための基礎資料とする。

【調査の概要】

調査対象：教養学部 1・3・4 年生、薬学部 1・4・6 年生、看護学部 1 年生

調査項目：1. 大学に入学する前や高校時代のことについて（1 年生のみ）

2. 大学における学修状況について

3. 大学の学びに関する満足度について

4. 英語の学修状況について

回答方法：manab@IMU を利用

実施期間：平成 29 年 7 月 26 日～平成 29 年 10 月 31 日

回 答 率：45.6 %

得られた結果を「学士課程教育の改善」に役立てていくには多面的・継続的な解析作業が必要である。教務委員会では、4 つの調査項目のうち、「2. 大学における就学状況」（授業での学修経験、授業内外における学修行動、正課内外の活動に費やす時間、入学後の知識・能力の変化についての質問）に対する回答に注目し、調査結果を学部ごとに解析することにより、各学部生の特色や学部ごとの問題の所在を明らかにする試みを行った。その結果を以下に掲載する。考察は、学部独自の課題の抽出から学部間の比較に基づく他学部への提言に及んでいる。毎年、定期的に行われる本調査が本学の学生指導をより効果的なものにするために役に立つことを願うものである。

【いわき明星大学 学習行動調査2017】

全学部集約資料分析

(80%以上の調査数値について推察・対策意見表記した)

項目	設問	内 容	肯定的評価(成果)		否定的評価(課題)		対 策
全 学 部 集 約 資 料 分 析 2- (1) 授業における経験や機会	A	体験的学習の有無	55%				
	B	仕事に役立つ学修	79%				
	C	授業内容の解説	74%				
	D	授業に関するボランティア			80%	教室外で行われる受講者対象ボランティア活動は運営や支援体制整備確立が難しいためと推察される。	広い意味で学外学修の一環ととらえ、インターンシップ等を積極的に推し進め、学内外から実践的手法や社会貢献を学ぶ機会を設定していく必要がある
	E	学生の調査活動	80%	学生自身の自学調査がよく行われている。			
	F	小テスト・レポートの有無	89%	定期的な小テスト・レポートは定常的に行われている			
	G	教員の添削・コメント	73%				
	H	学生の発表の場	80%	教員と学生との意見や質疑応答がよくなされている。			
	I	学生相互のディスカッション	82%	授業中における学生相互の意見交換の場が十分設定されている。			
	J	学生によるテーマ設定			55%		
	K	学生の意見を生かす			54%		
	L	希望する履修登録	77%				
	M	授業の出席重視姿勢	83%	受講出席は、学修のベースとなるもので当然の姿勢と思われる。			
	N	SA・TAの補助			53%		

項目	設問	内 容	肯定的評価(成果)		否定的評価(課題)		対 策
2-(2) 授業以外の学習への取り組み	A	授業課題と図書館活用	62%				
	B	課題へのインターネット上の情報活用	87%	タブレットPC配付等が活用率の高揚に功を奏しているものと推察される。			
	C	ネットによる課題受信報告提出	87%	タブレットPC及びソフトマナバ等の活用が学内広く普及してきたものと推察される。			
	D	課題提出期限遵守	80%	提出期限は概ねできているものと思われる。			
	E	授業時間外学生間の連携	78%				
	F	教員へ異議意見発表			79%		
	G	授業への出席	71%				
	H	授業への遅刻なし	78%				
	I	授業への興味関心			68%		
	J	授業中の居眠り			68%		
	K	教員研究へ参加			92%	教員研究へのプロジェクト参加は4年生以上ゼミ等が主のため他学年学生の参加は少ないと思われる。	教員が取り組む研究活動について、機会あるごとに紹介し、学生の興味関心を高め、プロジェクトへの積極的な参加を促す。
	L	単位外勉強会への参加			83%	資格取得やこれに関する就職に直結する勉強会以外は興味関心が低いことが推察される	学生の将来のキャリア等へ繋がる単位外勉強会の開催へ向けて積極的に取り組み啓発を試
	M	教職員への就職相談			76%		
	N	教員への親近感	53%				
2-(3) 入学以来1週間あたりの費やした時間	A	授業や実験への参加	75%	(11時間以上)			
	B	授業時間以外の勉強			52%	(5時間以下)	
	C	時間外教員への質問			68%	(1時間未満)	
	D	部活動・同好会参加			55%	(1時間未満)	
	E	アルバイト等体験			67%	(1時間未満)	
	F	漫画等除く読書			66%	(1時間未満)	
	G	個人的趣味活動	64%	(3時間以上)			
	H	ボランティア活動参加			89%	全然ない80%、1時間未満9%	ボランティア活動の楽しさ・社会貢献活動の価値、よさを味わうための普及・啓発が必要。
	I	SNS等の利用	50%	(2時間未満)			
	J	予習復習を行う時間帯	27%	多い時間帯は夜・夕方			
	K	休日の学習時間帯	28%	多い時間帯は夜・夕方			

項目	設問	内 容	肯定的評価(成果)		否定的評価(課題)		対 策
2-(4) 入学時点と比較し能力・知識の変化	A	一般教養	75%				
	B	分析力・問題解決能力	74%				
	C	専門分野や学科知識	86%	肯定的回答が高く、授業の一定成果が見られる。			
	D	批判的に考える能力	59%				
	E	異文化に関する知識	37%		6%		
	F	リーダーシップの能力	47%		5%		
	G	人間関係構築する能力	68%				
	H	他者との協働能力	74%				
	I	異文化人との協力能力	27%		7%		留学生等が少ない 本学の実態から出 てくる数値と推察さ れる。
	J	地域社会問題の理解	44%		3%		
	K	国民が抱える問題理解	41%		3%		
	L	文章表現の能力	59%				
	M	外国語の運用能力	25%		19%		我が国の教育政策 として新学習指導 要領等に英語教育 充実が強調された ことから英語運用 能力を高めるため の仕掛けが、今後 必要と思われる。
	N	コミュニケーション能力	66%				
	O	プレゼン能力	69%				
	P	数理的な能力	42%		9%		
	Q	コンピュータ操作能力	76%				
	R	時間有効活用能力	63%				
	S	グローバル問題理解	29%				全学共通科目：地 球環境の科学等一 部にグローバルな 視点を扱うものが ある。学生の意識 を高めるには、グ ローバルな事象や 問題に触れる機会 の構築や教科の設
	T	就職準備の程度	50%		6%		

いわき明星大学 学修行動調査2017 調査結果

【全学部】

2. 大学における学習状況について

(1) あなたが受講した大学の授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか

A. 実験・実習・フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ



B. 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ



C. 授業内容と社会や日常生活の関わりについて教員が説明する



D. 授業の一環でボランティア活動をする



E. 学生自身が文献や資料を調べる



F. 定期的に小テストやレポートが課される



G. 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する



H. 学生が自分の考えや研究を発表する



I. 授業中に学生同士が議論をする



J. 授業で検討するテーマを学生が設定する



K. 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる



L. 取りたい授業を履修登録できなかった



M. 出席することが重視される



N. SA・TA（上級生や大学院生の授業補助者）から補助を受ける



(2) 大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらいしましたか
A. 授業課題のために図書館の資料を利用した



B. 授業課題のためにインターネット上の情報を利用した



C. インターネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした



D. 提出期限までに授業課題を完成できなかった



E. 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした



F. 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた



G. 授業を欠席した



H. 授業に遅刻した



I. 授業をつまらなく感じた



J. 授業中に居眠りをした



K. 教員の研究プロジェクトに参加した



L. 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した



M. 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした

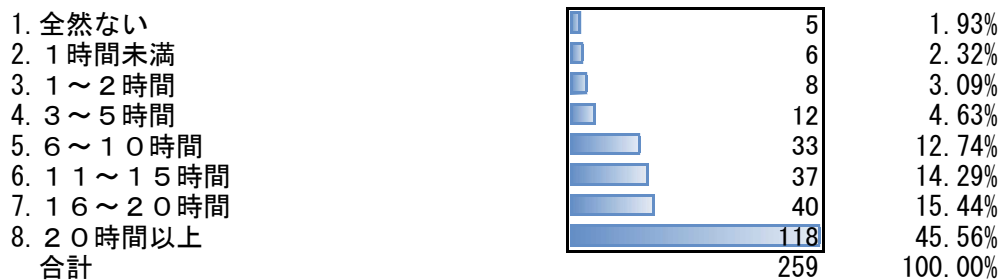


N. 教員に親近感を感じた

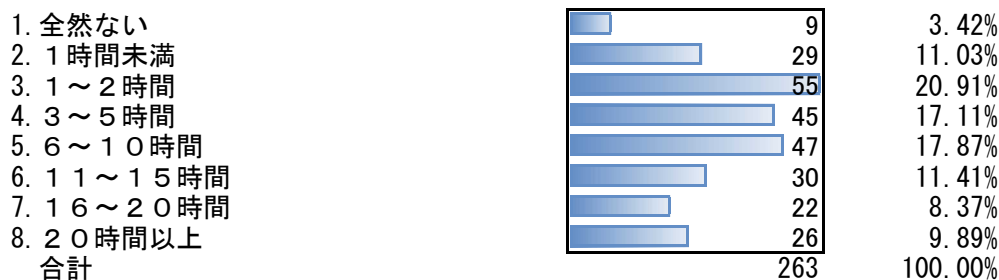


(3) 入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか。

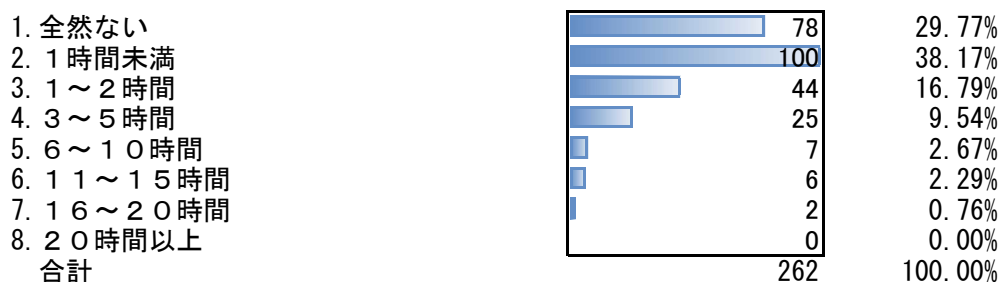
A. 授業や実験に出る



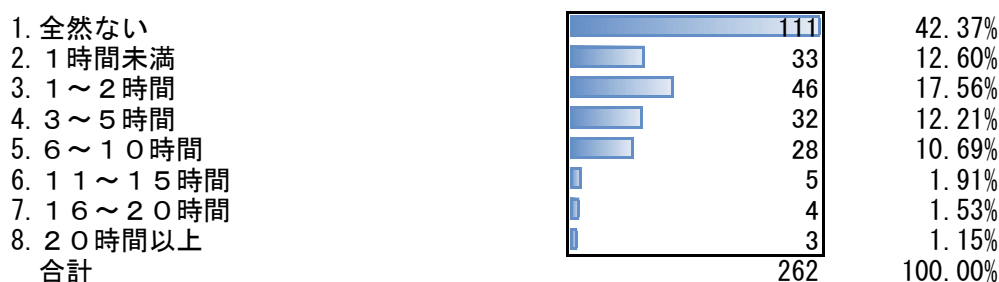
B. 授業時間以外に勉強や宿題をする



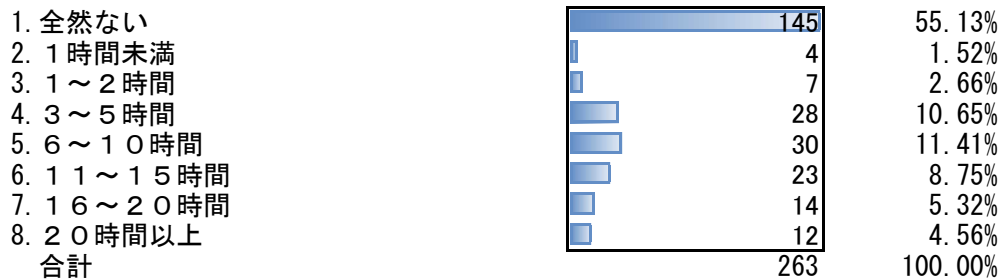
C. オフィスアワーなど、授業時間外に教員に質問する



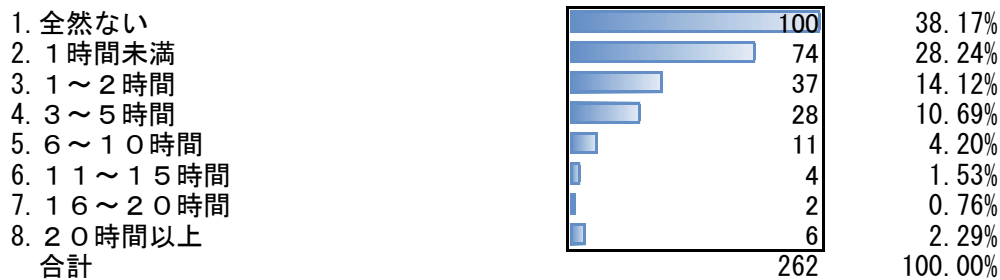
D. 部活動や同好会に参加する



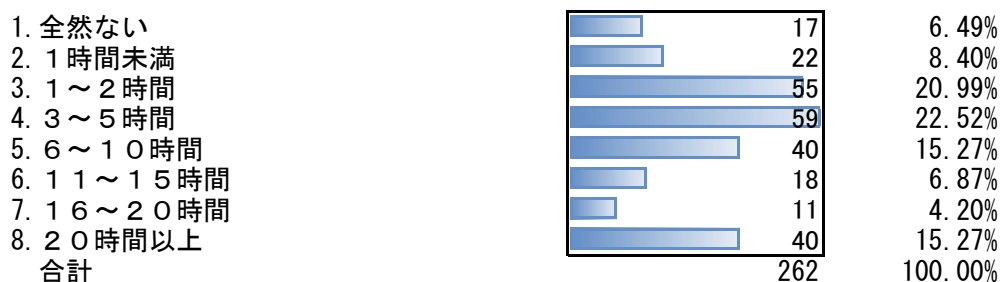
E. 大学外でアルバイトや仕事をする



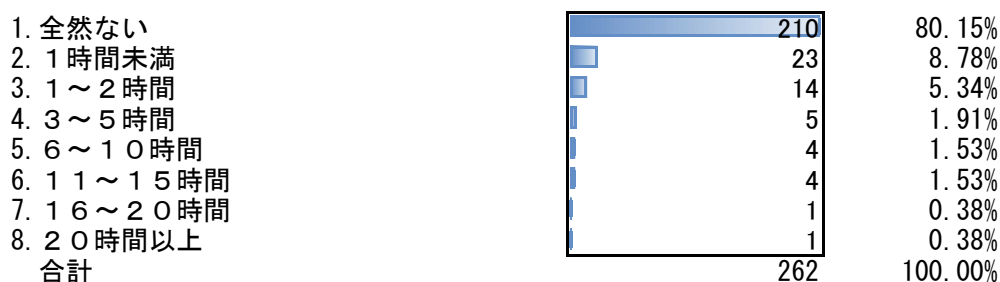
F. 読書をする（マンガ・雑誌を除く）



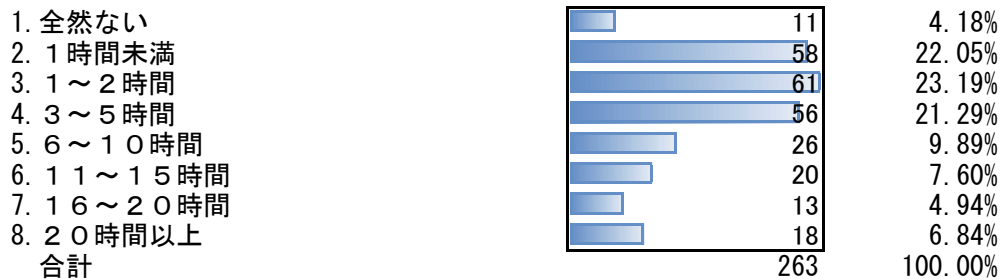
G. 個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）



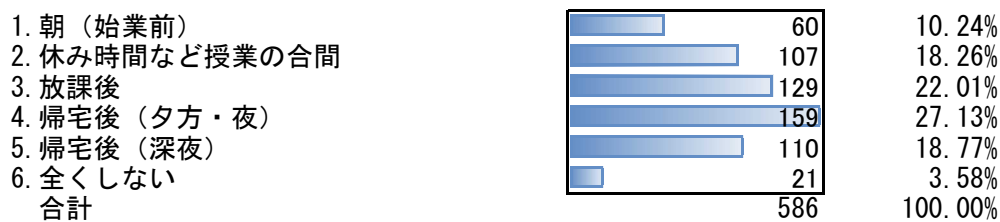
H. ボランティア活動に参加する



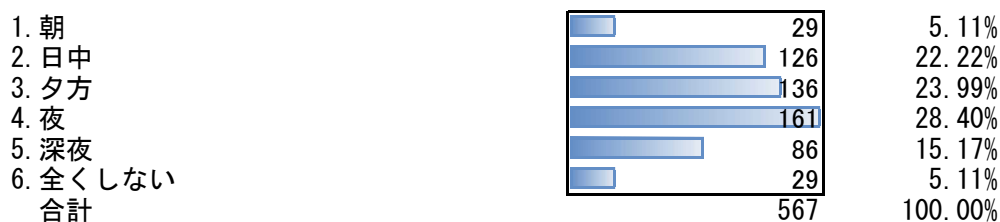
I. メール、Facebook、LINE等の利用



J. 平日（授業のある日）に予習・復習を行う主な時間帯（あてはまるものをすべて選んでください。）

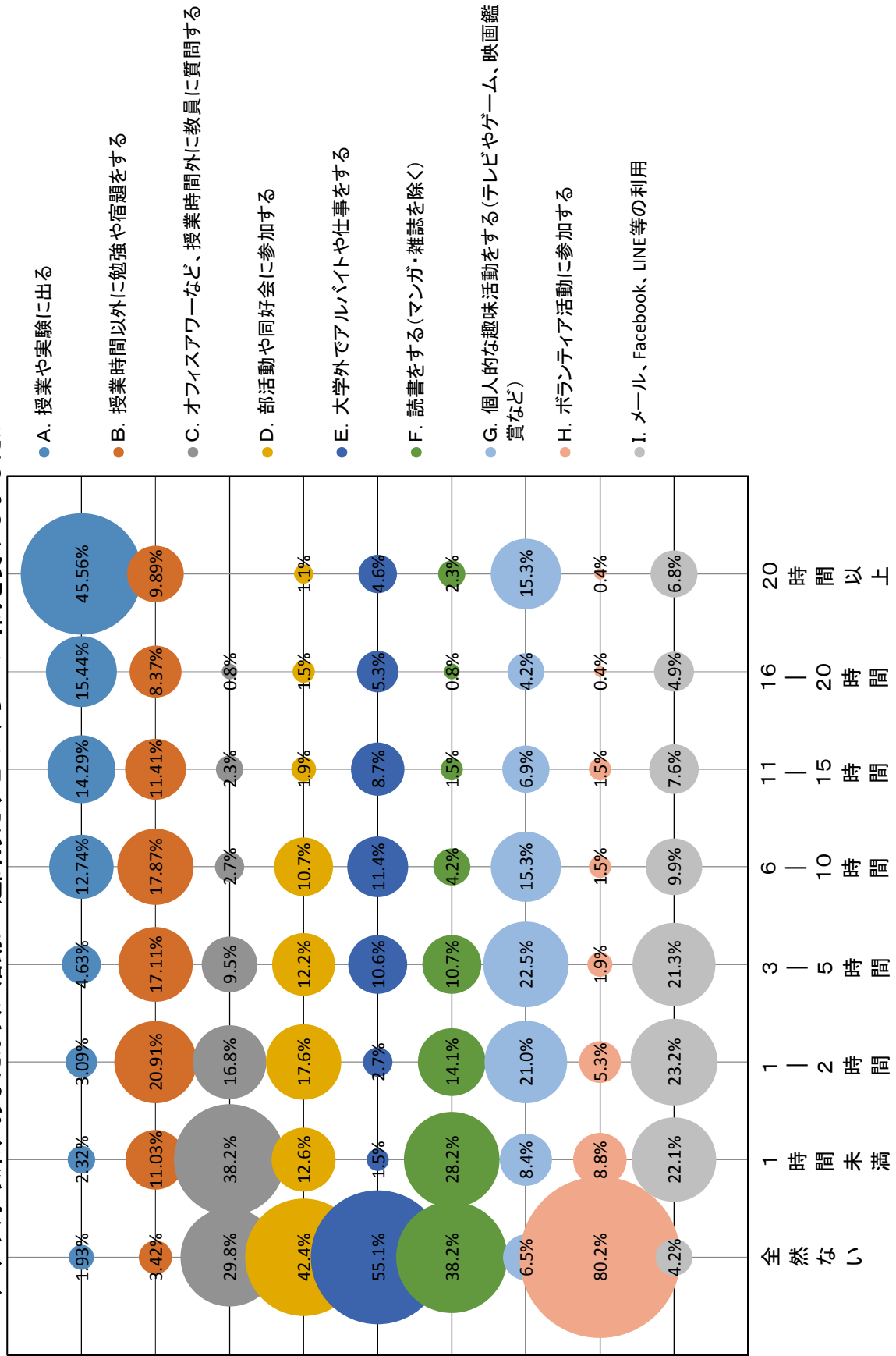


K. 休日（授業のない日）に予習・復習を行う主な時間帯（あてはまるものをすべて選んでください。）



【全学部】

H29（3）入学以来、あなたは次ン活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか



(4) 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。

A. 一般的な教養



B. 分析力や問題解決能力



C. 専門分野や学科の知識



D. 批判的に考える能力



E. 異文化の人々に関する知識



F. リーダーシップの能力



G. 人間関係を構築する能力



H. 他の人と協力して物事を遂行する能力



I. 異文化の人々と協力する能力



J. 地域社会が直面する問題を理解する能力



K. 国民が直面する問題を理解する能力



L. 文章表現の能力



M. 外国語の運用能力



N. コミュニケーションの能力



O. プレゼンテーションの能力



P. 数理的な能力



Q. コンピュータの操作能力



R. 時間を有効に利用する能力



S. グローバルな問題の理解



T. 卒業後に就職するための準備の程度



2017 年度 学修行動調査結果に対する考察

教養学部の特徴

(1) 大学の授業における学習機会について

- ・他学部と比べると、学生が自分の考えや研究を発表する機会や、授業中に学生同士が議論をする機会が、やや少ない傾向にあった。

⇒ フレッシュヤーズセミナーや基礎ゼミなどではこのような機会が設けられているが、一部の授業に限られているようである。必要に応じて、演習系の科目を中心にこういった機会を増やしても良いかもしれない。

(2) 大学の授業や授業以外の学修について

- ・他学部と比べると、大学の教職員に将来のキャリアの相談をする傾向は高い傾向にあった。

⇒ キャリアデザインが必修科目として開講されていることや、学部内にキャリア計教員がいることで、相談しやすい環境にある。また、今年度は4年生がいることや、その進路も他学部に比べて多岐にわたる点も影響していると考えられる。今後、学生課やキャリア教員、専門ゼミ担当教員が連携・情報共有して支援体制をさらに強化していくことが望まれる。

(3) 1 週間あたりに費やす時間の使い方について

- ・授業時間以外の勉強・宿題に費やす時間、オフィスアワーなど授業時間外に教員に質問する時間、授業時間外に他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりする時間は、全体的に短い傾向にあった。

⇒ 授業外の学習時間については、学生の自発性だけを期待するのではなく、予習復習や授業外の課題を教員の方から明示する必要がある。また、資格取得を目的とした自主的な勉強会や教員との研究プロジェクトなどは、すでに部分的には行われているが、必要に応じてさらに拡大してもよいかもしれない。

- ・メール、Facebook、LINE などの利用状況が高い傾向にあった。

⇒ このなかには私的な利用以外にも、ゼミ活動やグループ研究に関わる利用、manaba に関わる利用も含まれると考えられる。ただし、10 時間以上利用している割合が 20%を超えており、ネット依存や SNS 上でのトラブルなどが生じている可能性もある。この点については注意喚起が必要かもしれない。

(4) 入学した時点と比べて変化した能力や知識について

- ・他学部と比べると、批判的に考える能力や異文化の人々に関する知識、地域社会や国民が直面する問題を理解する能力は向上したという回答が得られた。また、卒業後に就職するための準備の程度も増えていた。

⇒これらの変化は、フレッシュャーズセミナーやキャリアデザインを中心に PBL 型授業を取り入れた効果が現れてきた結果といえる。今後は、人間関係を構築する能力やコミュニケーションの能力など、他の能力を高める機会も増やしてゆく必要があるかもしれない。

【教養学部】

2. 大学における学習状況について

(1) あなたが受講した大学の授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか

A. 実験・実習・フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ



B. 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ



C. 授業内容と社会や日常生活の関わりについて教員が説明する



D. 授業の一環でボランティア活動をする



E. 学生自身が文献や資料を調べる



F. 定期的に小テストやレポートが課される



G. 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する



H. 学生が自分の考えや研究を発表する



I. 授業中に学生同士が議論をする



J. 授業で検討するテーマを学生が設定する



K. 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる



L. 取りたい授業を履修登録できなかった



M. 出席することが重視される



N. SA・TA（上級生や大学院生の授業補助者）から補助を受ける



(2) 大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらいしましたか
A. 授業課題のために図書館の資料を利用した



B. 授業課題のためにインターネット上の情報を利用した



C. インターネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした



D. 提出期限までに授業課題を完成できなかった



E. 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした



F. 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた



G. 授業を欠席した



H. 授業に遅刻した



I. 授業をつまらなく感じた



J. 授業中に居眠りをした



K. 教員の研究プロジェクトに参加した



L. 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した



M. 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした

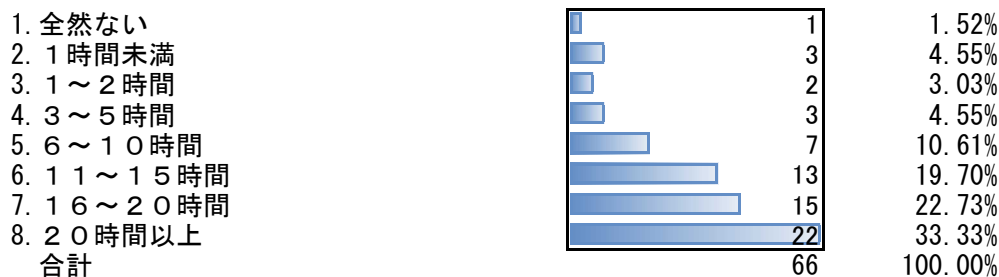


N. 教員に親近感を感じた

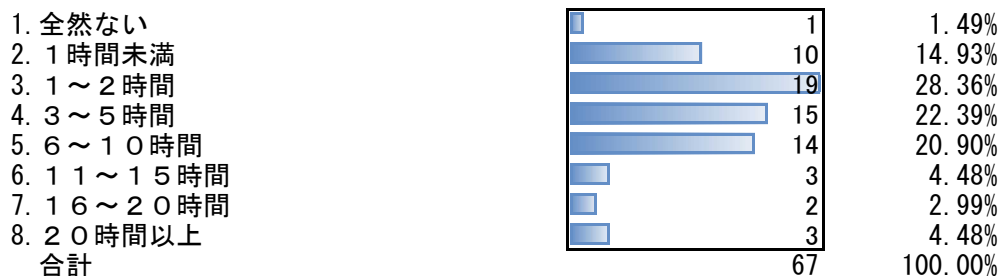


(3) 入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか。

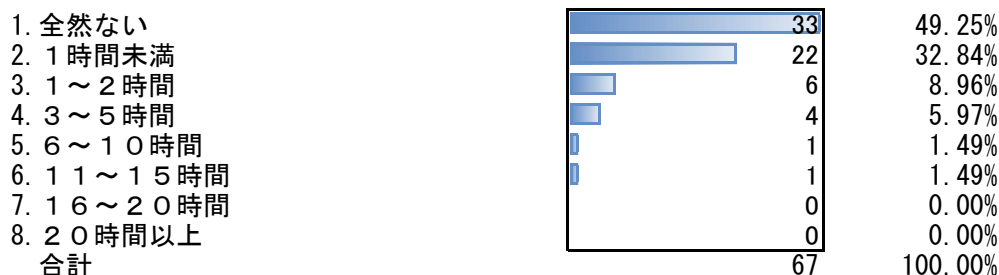
A. 授業や実験に出る



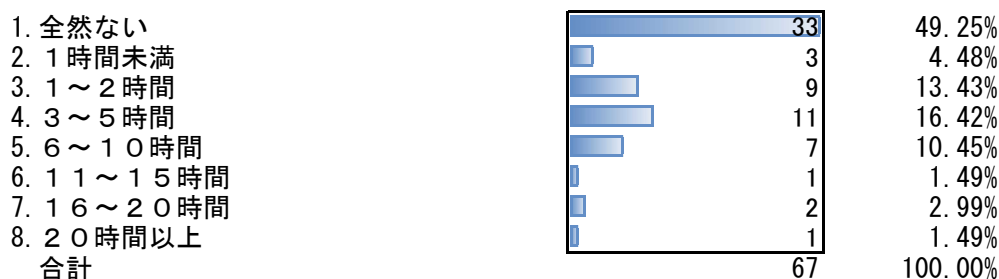
B. 授業時間以外に勉強や宿題をする



C. オフィスアワーなど、授業時間外に教員に質問する



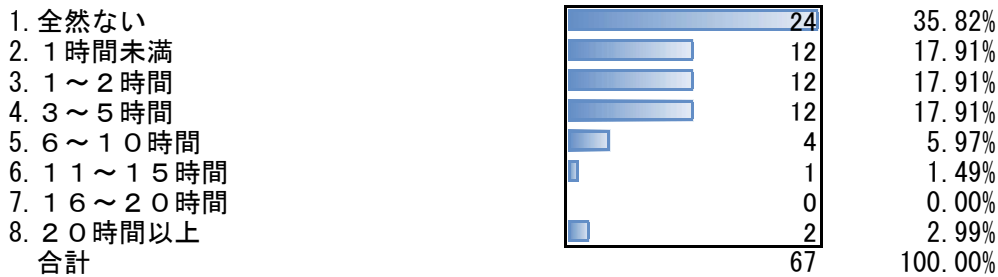
D. 部活動や同好会に参加する



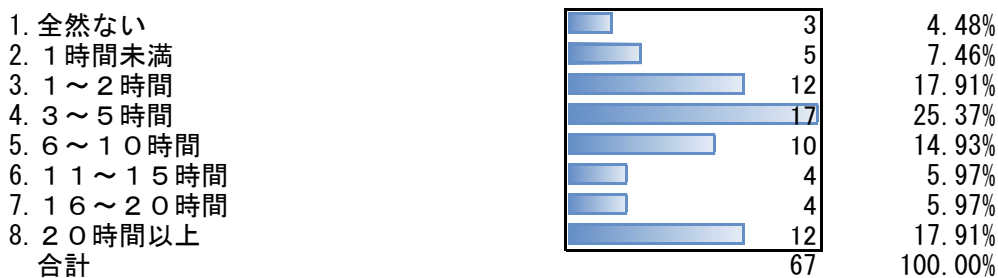
E. 大学外でアルバイトや仕事をする



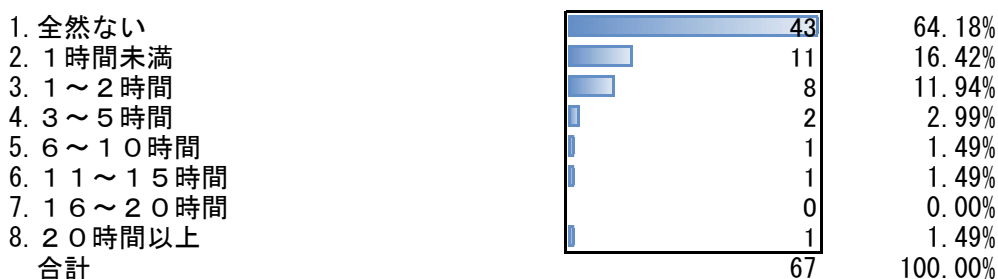
F. 読書をする（マンガ・雑誌を除く）



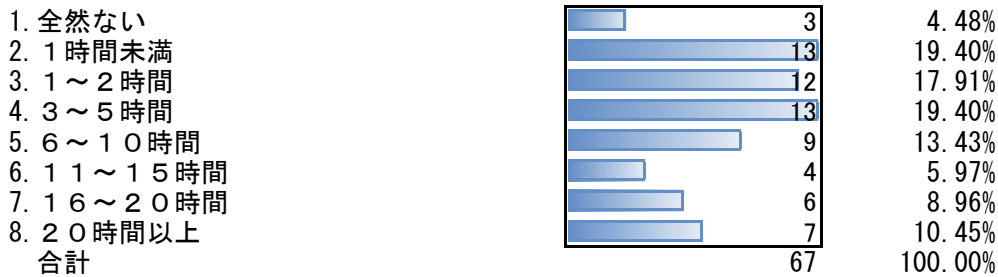
G. 個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）



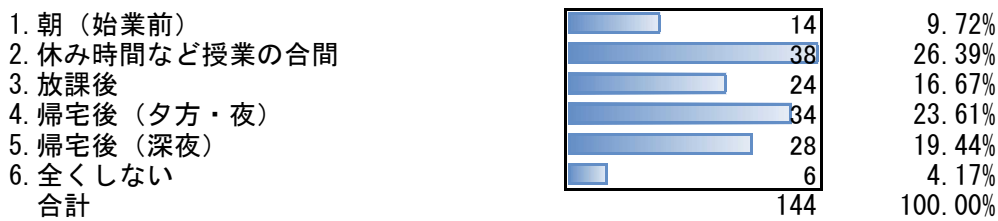
H. ボランティア活動に参加する



I. メール、Facebook、LINE等の利用



J. 平日（授業のある日）に予習・復習を行う主な時間帯（あてはまるものをすべて選んでください。）

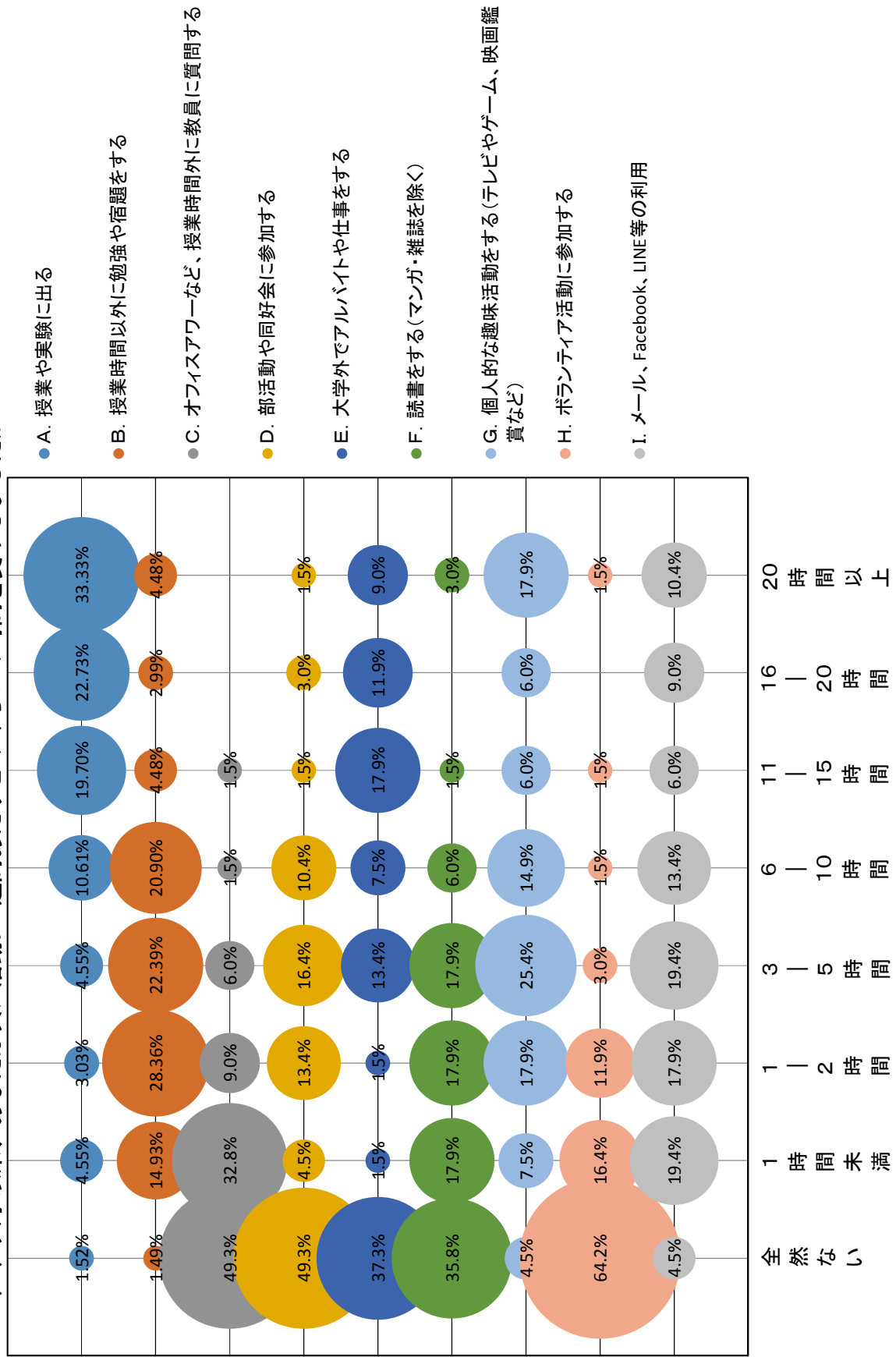


K. 休日（授業のない日）に予習・復習を行う主な時間帯（あてはまるものをすべて選んでください。）



【教養学部】

H29（3）入学以来、あなたは次ン活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか



(4) 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。

A. 一般的な教養



B. 分析力や問題解決能力



C. 専門分野や学科の知識



D. 批判的に考える能力



E. 異文化の人々に関する知識



F. リーダーシップの能力



G. 人間関係を構築する能力



H. 他の人と協力して物事を遂行する能力



I. 異文化の人々と協力する能力



J. 地域社会が直面する問題を理解する能力



K. 国民が直面する問題を理解する能力



L. 文章表現の能力



M. 外国語の運用能力



N. コミュニケーションの能力



O. プレゼンテーションの能力



P. 数理的な能力



Q. コンピュータの操作能力



R. 時間を有効に利用する能力



S. グローバルな問題の理解



T. 卒業後に就職するための準備の程度



いわき明星大学「学修行動調査 2017」薬学部（2016 年度との比較）

10%以上改善

10%以上減少

2. 大学における学習状況について

（1）あなたが受講した大学の授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか。

- A : 実験・実習などは減っている。
* 学生の意識の問題で、実際は変化していない。
- B : 仕事に役立つ知識やスキルは増えている。
* 実際、大きな変化は無い。
- F : 小テストやレポートが増えている。
* 小テストやレポートが増えている事が学生の理解の向上につながるかどうかは疑問である。
- G : 提出物に添削やコメントを付けて返却する教員が極めて増加している。
* 素晴らしい！
- I : 授業中、学生同士が議論する講義が増えている。
- J, K : 授業で検討するテーマを学生が設定する、学生が進め方を提案する。減少している。
* 減少している事が悪い事なのかどうかは判断できない。（設問の意図不明）
- L : 取りたい授業を履修登録できなかった。
* ほとんど改善されている。

（2）大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらいしましたか。

- B, C : インターネットの活用が増加している。
- D : 「提出期限までに授業課題を完成できなかった」学生が減少している。
- E : 開設当初から、例えば私は「勉強は団体戦」と言い続けてきており、大分定着してきた。
* 益々、増加している。
- G, H : 授業に遅刻したり欠席したりする学生が減少している。
- M : キャリアの相談をする学生の割合は減少しているが、薬学部の場合はあまり問題ない。

(3) 入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか。

- B : 授業以外で勉強や宿題をする時間が増えている。
- C : 授業時間以外に教員に質問する学生の数が増えている。
- D : 部活や同好会に参加する時間が増えている。
* 非常に良い事である。
- E : 大学外でアルバイトや仕事を全くしない学生の割合が増えている。
* 必ずしも良いとは言えない。

(4) 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。

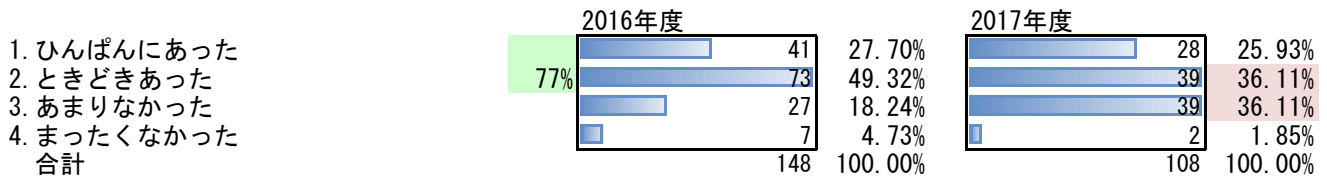
設問が漠然としていて、学生が具体的に比較するのが難しい設問に対しては「変化なし」を中心に類似したばらつきが見られる(=学生が具体的に考えられない)。(E, I, J, K, M, S, Tなど)

【薬学部】

2. 大学における学習状況について

(1) あなたが受講した大学の授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか。

A. 実験・実習・フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ



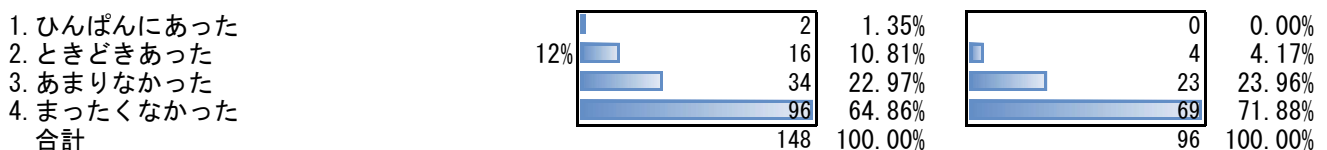
B. 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ



C. 授業内容と社会や日常生活の関わりについて教員が説明する



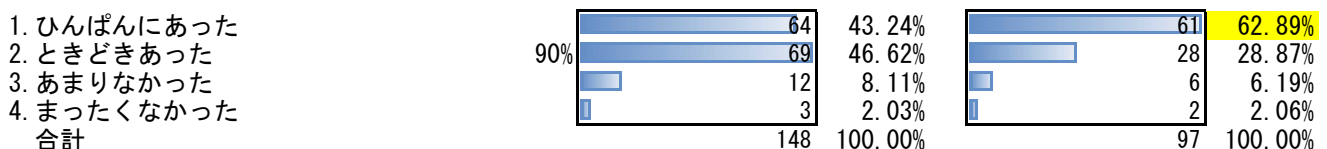
D. 授業の一環でボランティア活動をする



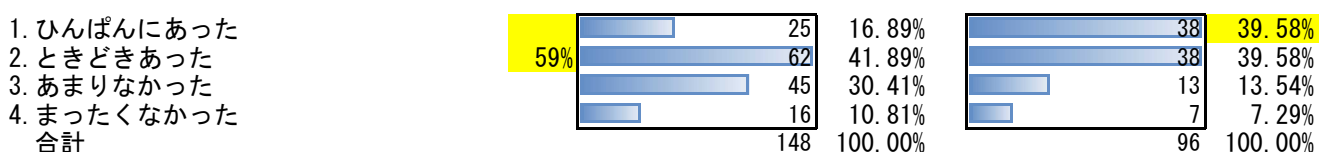
E. 学生自身が文献や資料を調べる



F. 定期的に小テストやレポートが課される



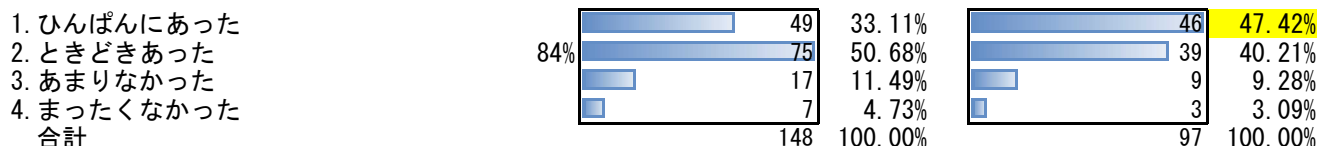
G. 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する



H. 学生が自分の考えや研究を発表する



I. 授業中に学生同士が議論をする



J. 授業で検討するテーマを学生が設定



K. 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる



L. 取りたい授業を履修登録できなかった



M. 出席することが重視される

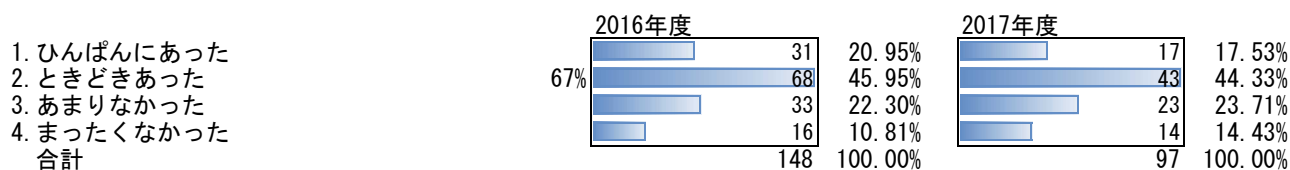


N. SA・TA（上級生や大学院生の授業補助者）から補助を受ける

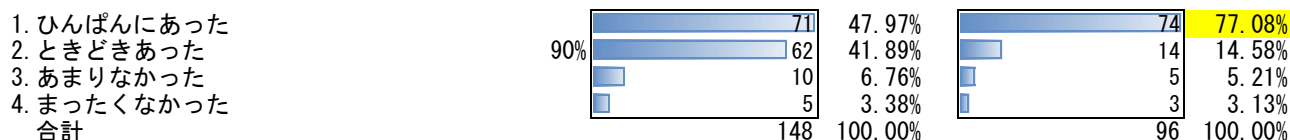


(2) 大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらいしましたか。

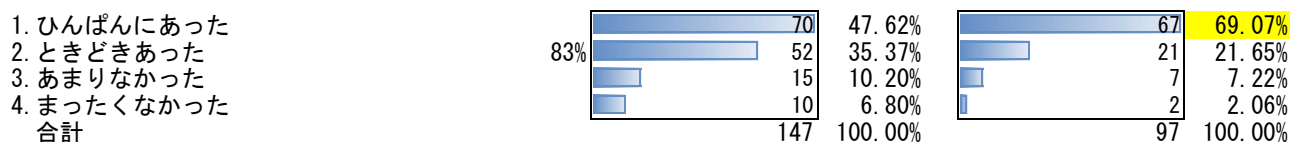
A. 授業課題のために図書館の資料を利用した



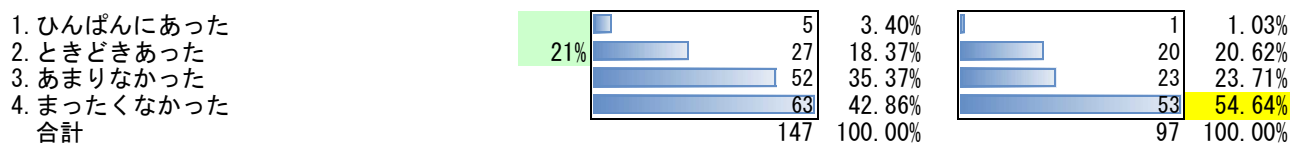
B. 授業課題のためにインターネット上の情報を利用した



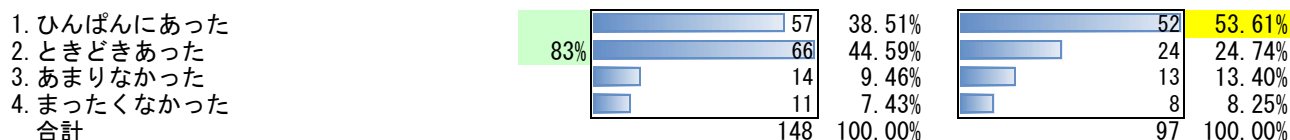
C. インターネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした



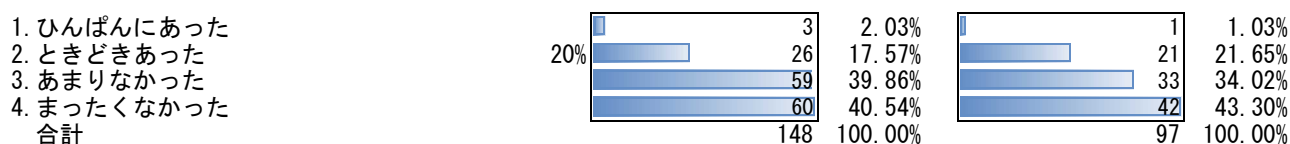
D. 提出期限までに授業課題を完成できなかった



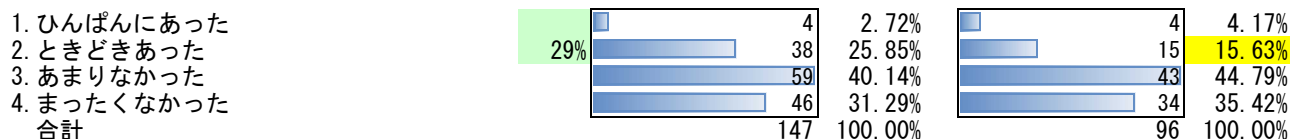
E. 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした



F. 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた

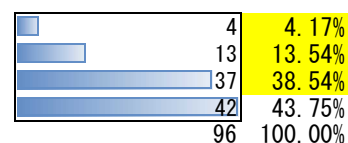
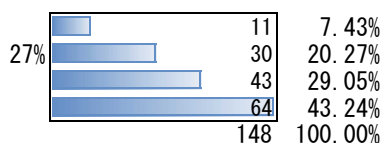


G. 授業を欠席した



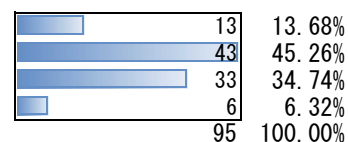
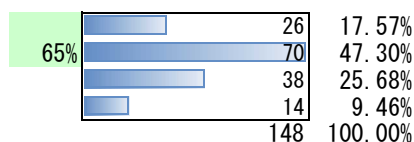
H. 授業に遅刻した

1. ひんぱんにあった
2. ときどきあった
3. あまりなかった
4. まったくなかった
- 合計



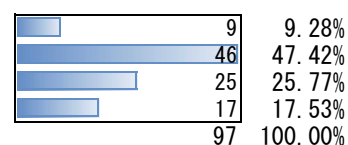
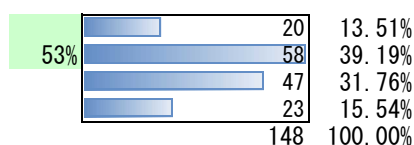
I. 授業をつまらなく感じた

1. ひんぱんにあった
2. ときどきあった
3. あまりなかった
4. まったくなかった
- 合計



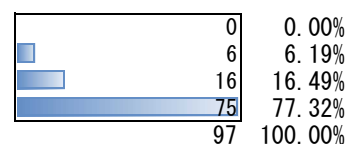
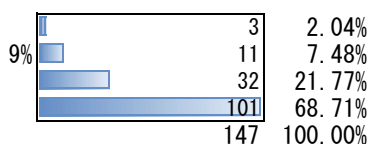
J. 授業中に居眠りをした

1. ひんぱんにあった
2. ときどきあった
3. あまりなかった
4. まったくなかった
- 合計



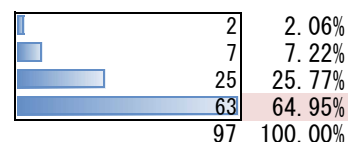
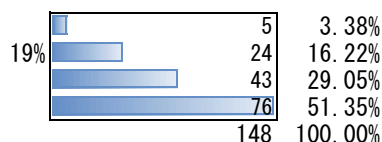
K. 教員の研究プロジェクトに参加した

1. ひんぱんにあった
2. ときどきあった
3. あまりなかった
4. まったくなかった
- 合計



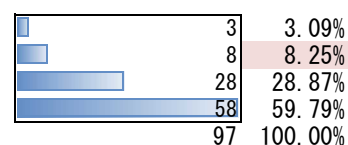
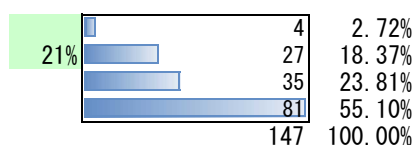
L. 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した

1. ひんぱんにあった
2. ときどきあった
3. あまりなかった
4. まったくなかった
- 合計



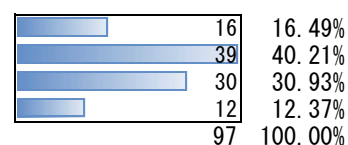
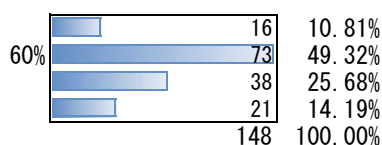
M. 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした

1. ひんぱんにあった
2. ときどきあった
3. あまりなかった
4. まったくなかった
- 合計



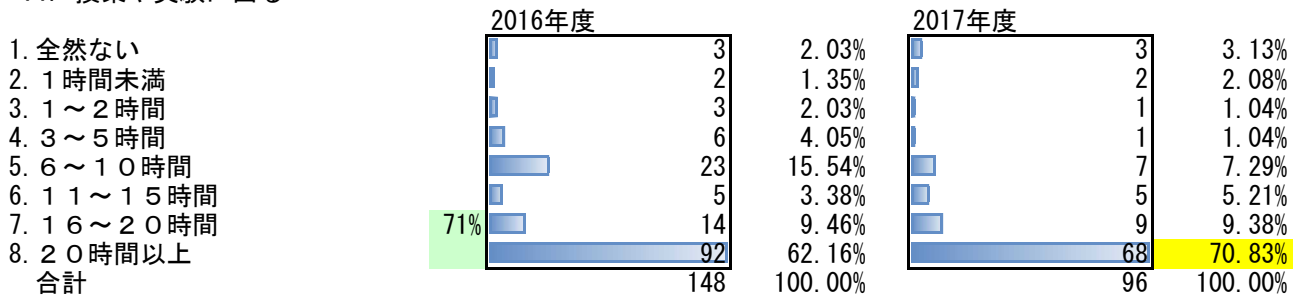
N. 教員に親近感を感じた

1. ひんぱんにあった
2. ときどきあった
3. あまりなかった
4. まったくなかった
- 合計

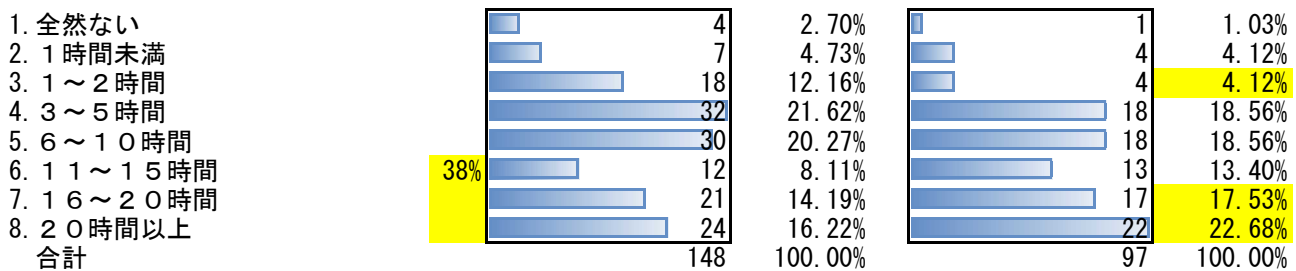


(3) 入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか。

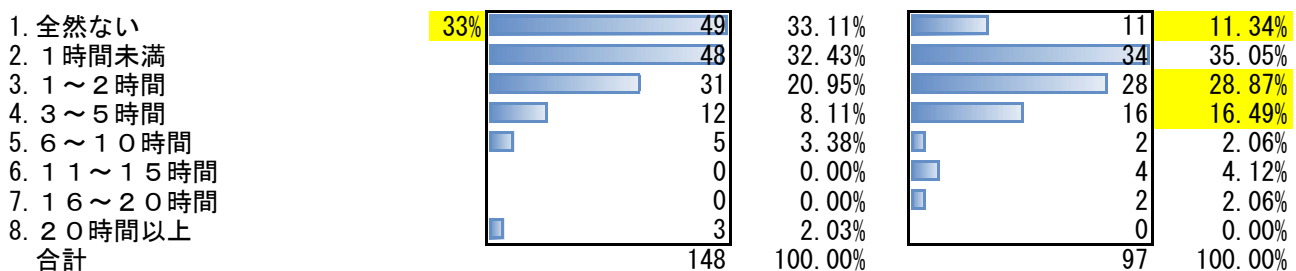
A. 授業や実験に出る



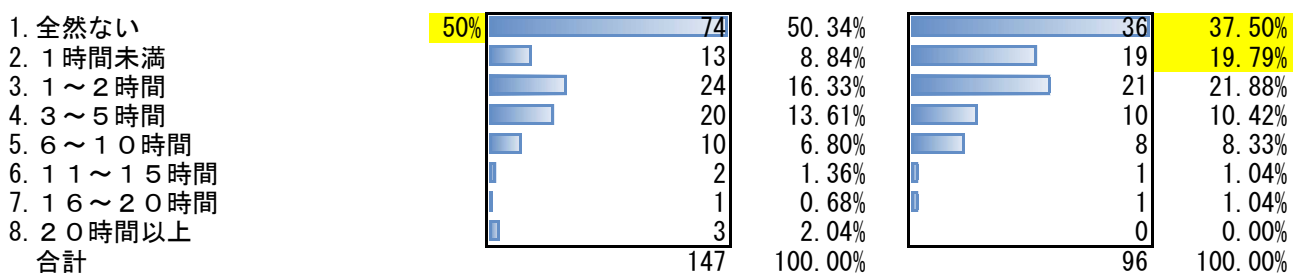
B. 授業時間以外に勉強や宿題をする



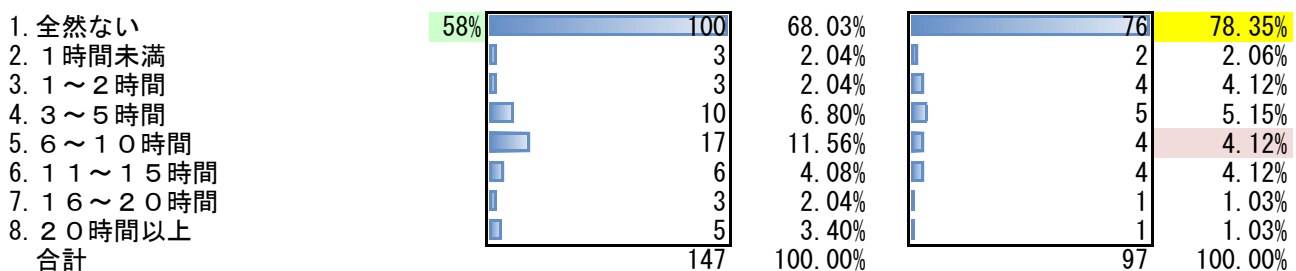
C. オフィスアワーなど、授業時間外に教員に質問する



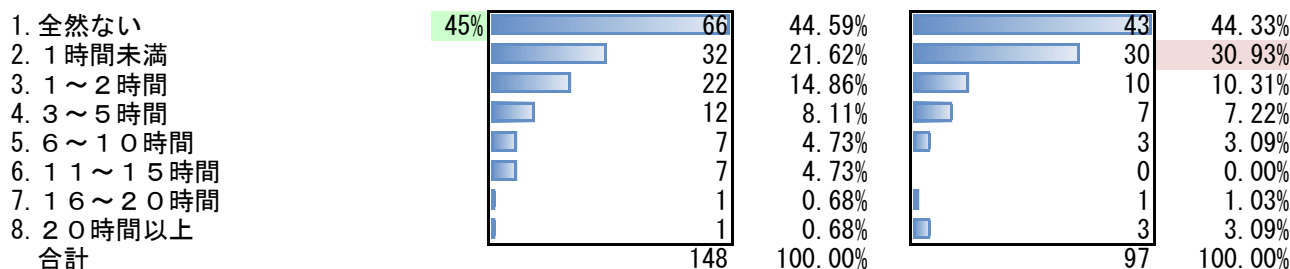
D. 部活動や同好会に参加する



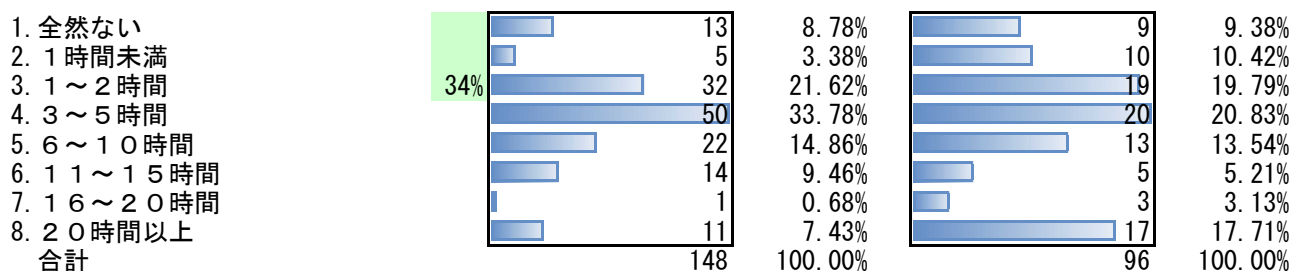
E. 大学外でアルバイトや仕事をする



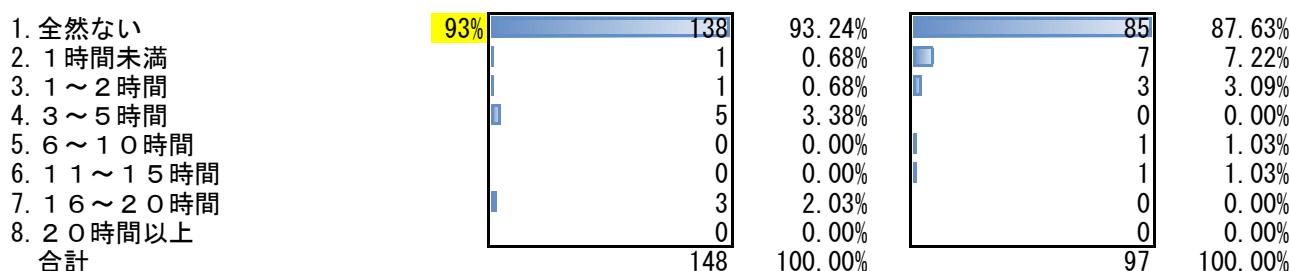
F. 読書をする（マンガ・雑誌を除く）



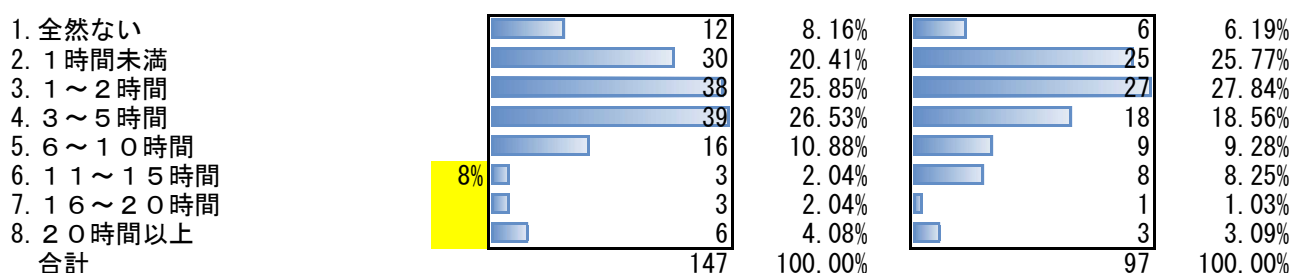
G. 個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）



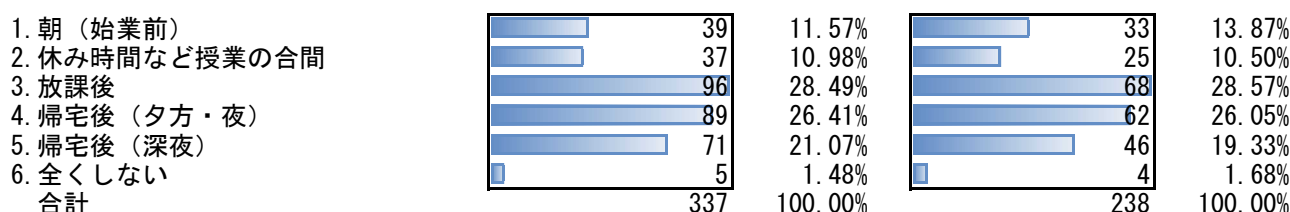
H. ボランティア活動に参加する



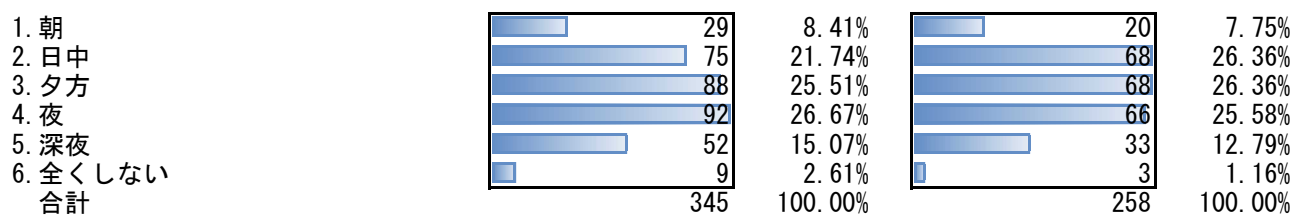
I. メール、Facebook、LINE等の利用



J. 平日（授業のある日）に予習・復習を行う主な時間帯（あてはまるものをすべて選んでください。）

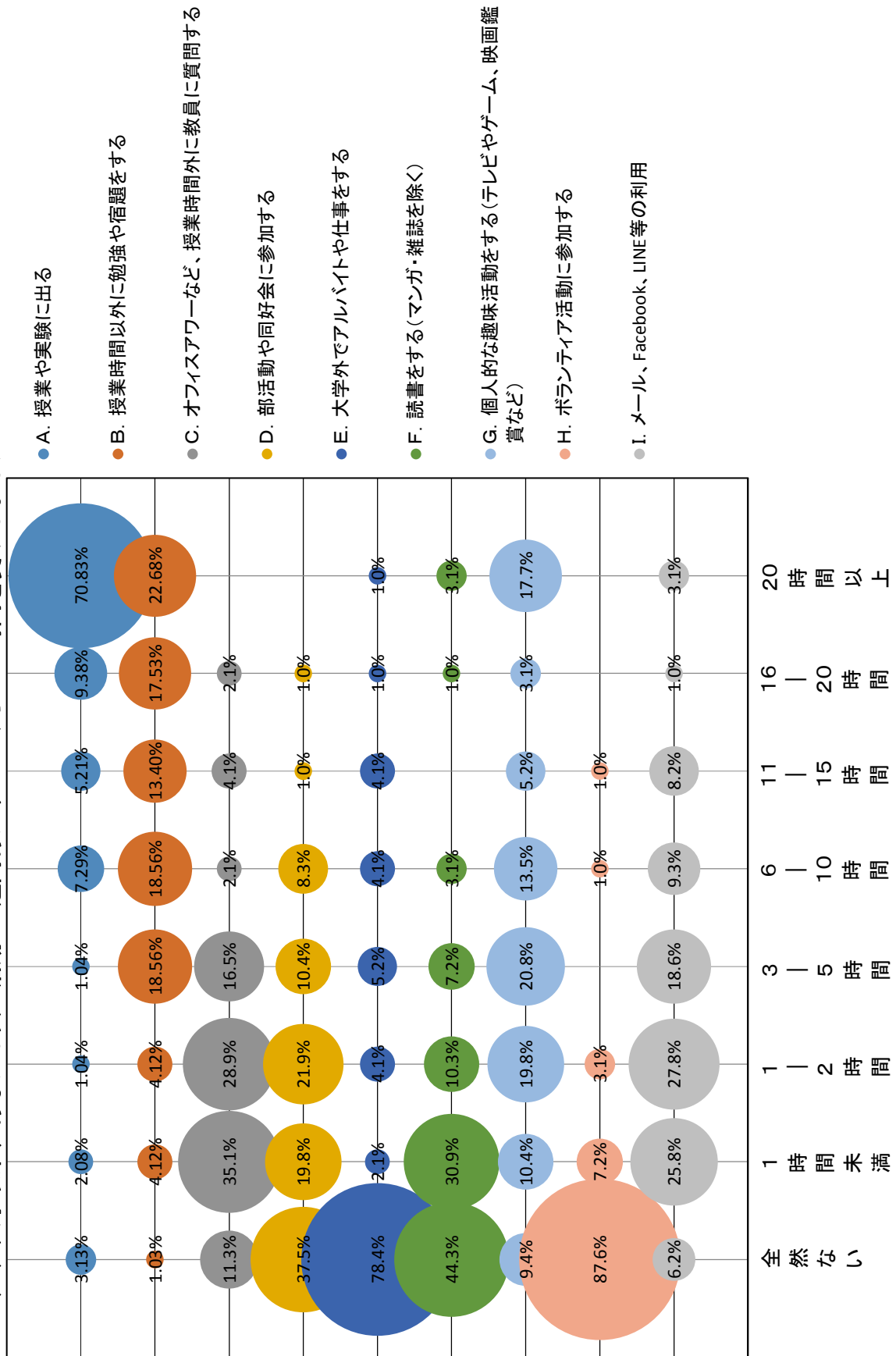


K. 休日（授業のない日）に予習・復習を行う主な時間帯（あてはまるものをすべて選んでください。）



【薬学部】

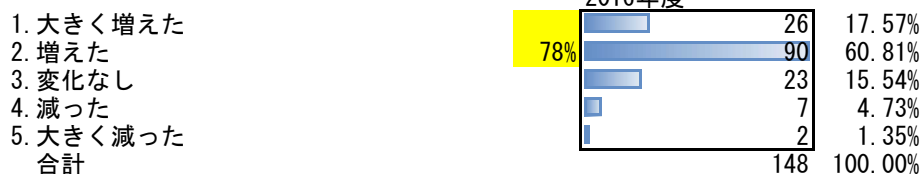
H29（3）入学以来、あなたは次ン活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか



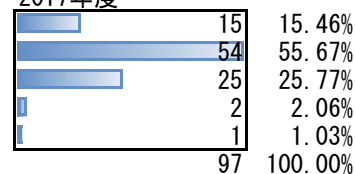
(4) 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。

A. 一般的な教養

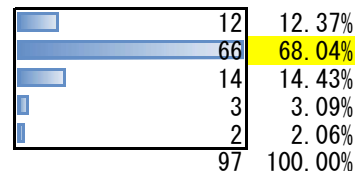
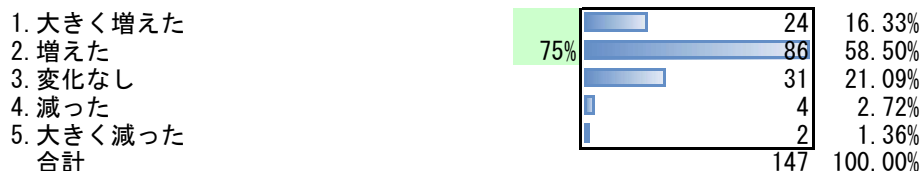
薬学部
2016年度



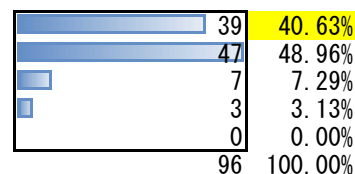
2017年度



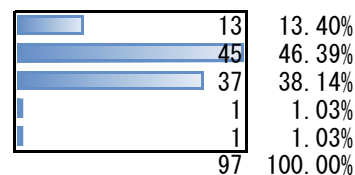
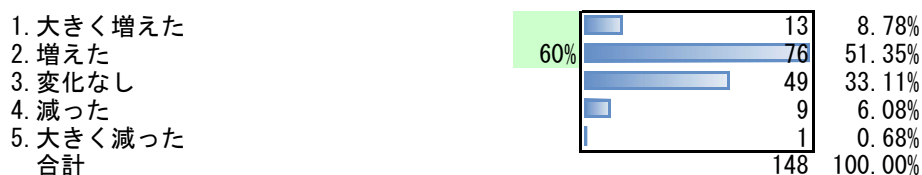
B. 分析力や問題解決能力



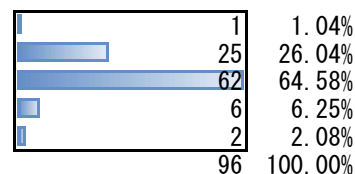
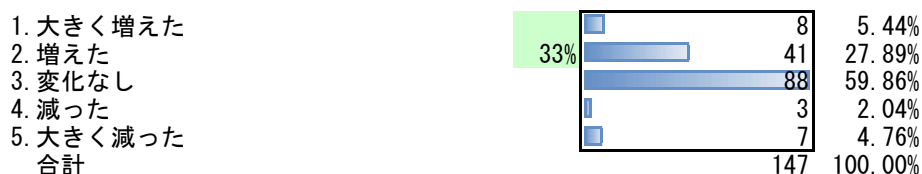
C. 専門分野や学科の知識



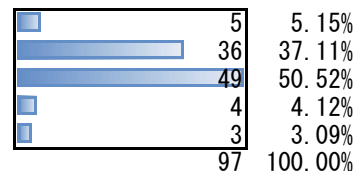
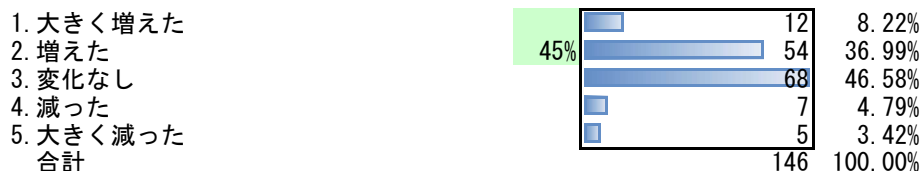
D. 批判的に考える能力



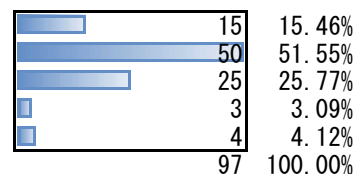
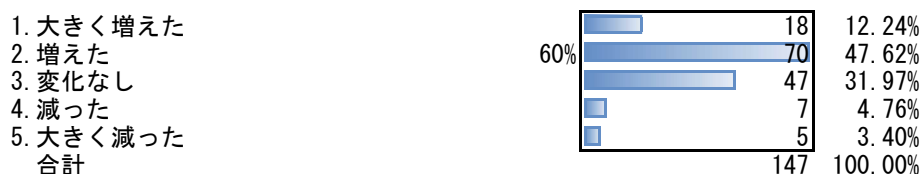
E. 異文化の人々に関する知識



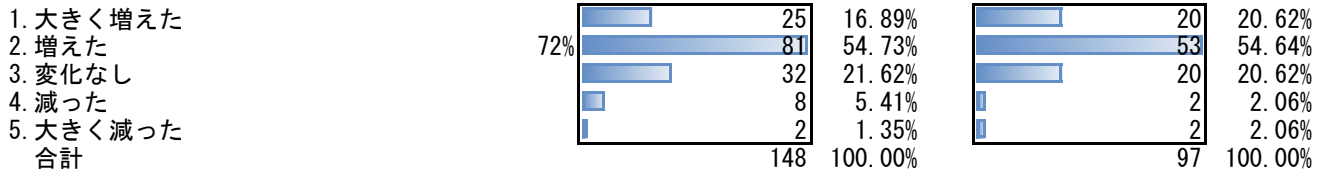
F. リーダーシップの能力



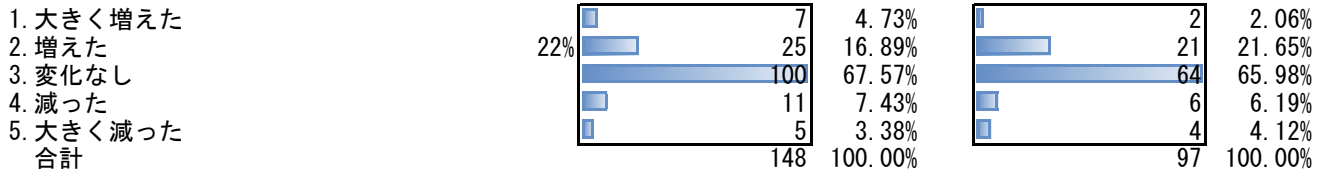
G. 人間関係を構築する能力



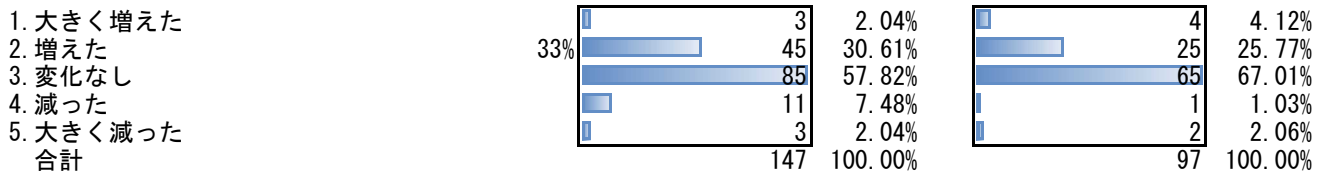
H. 他の人と協力して物事を遂行する能力



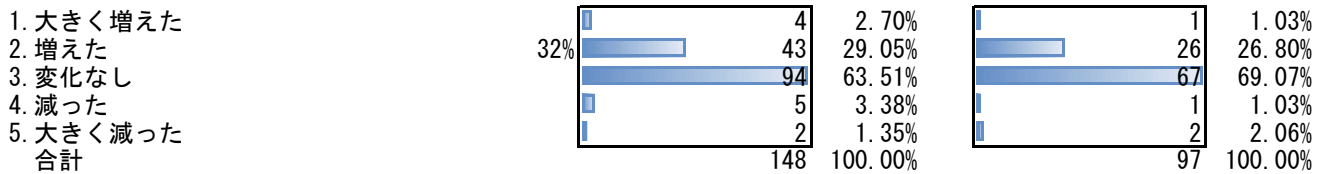
I. 異文化の人々と協力する能力



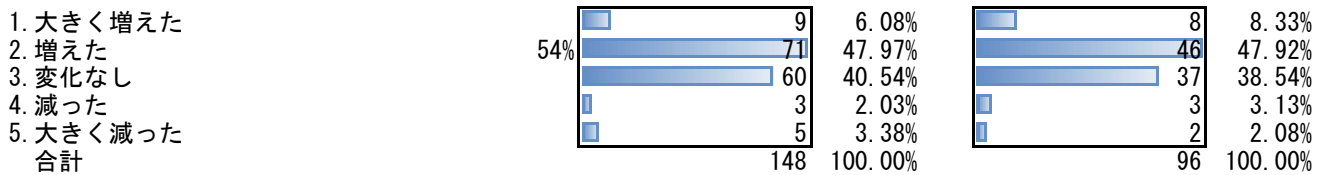
J. 地域社会が直面する問題を理解する能力



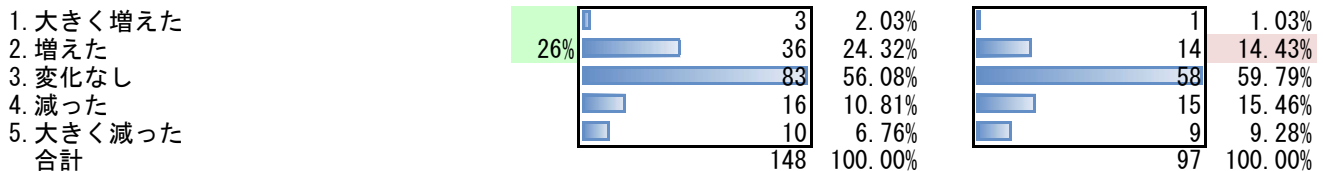
K. 国民が直面する問題を理解する能力



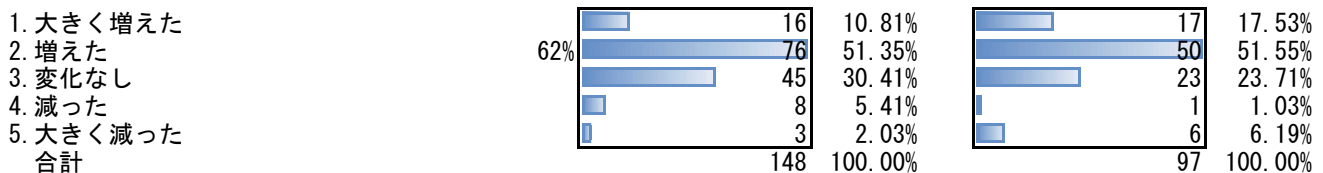
L. 文章表現の能力



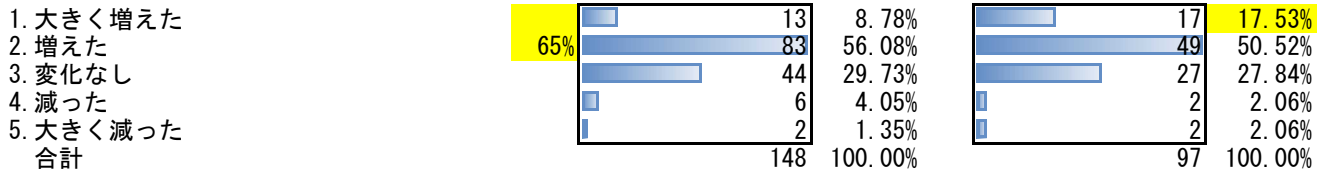
M. 外国語の運用能力



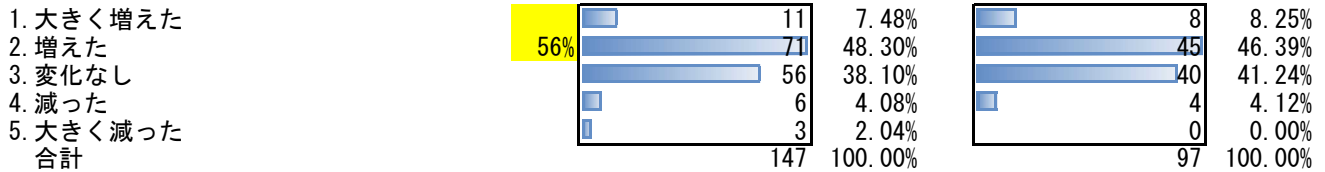
N. コミュニケーションの能力



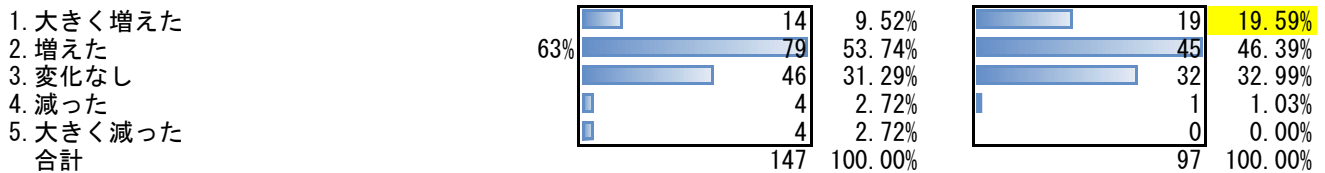
○. プレゼンテーションの能力



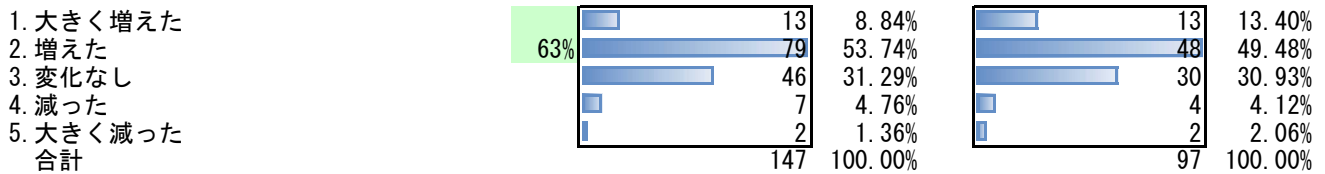
P. 数理的な能力



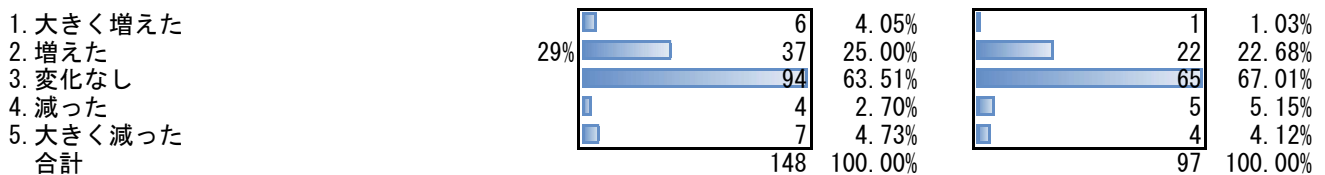
Q. コンピュータの操作能力



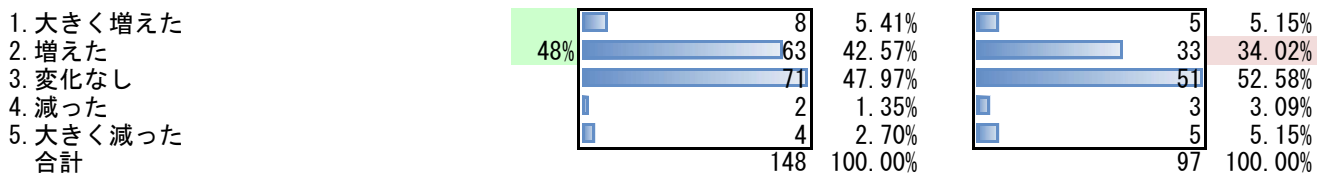
R. 時間を有効に利用する能力



S. グローバルな問題の理解



T. 卒業後に就職するための準備の程度



「全学生へのアンケート調査」であるため、1 年生しか在籍していない看護学部と全学年在籍している他学部や全学部を単純に比較することは不適切であると考えられる。また、看護学部は過去の 1 年生の回答も存在していない。そのため、他学部との比較、経年変化については除いて考察する。

2. 大学における学習状況についての考察

(1) あなたが受講した大学の授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか

「授業の一環でボランティア活動をする」の割合が相対的に低く、「あまりなかった」または「まったくなかった」が 90 % 近くを占めている。授業の一環でボランティア活動をするものの適・不適や可能・不可能については授業や科目の内容によるところが大きいためこの結果から考察することは難しいが、ボランティア活動を全学共通教育科目に取り入れることの検討余地は十分にあると考えられる。

また、「SA・TA（上級生や大学院生の授業補助者）から補助を受ける」の「あまりなかった」または「まったくなかった」が 80 % 近くを占めている。看護学部は 1 年生のみで、大学院生も在籍していないことによるものと考えられるが、今後上級生を授業に入れる効果やその実現可能性についても検討していく必要があると考えられる。

(2) 大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらいしましたか

相対的に割合が高い項目は、「授業課題のためにインターネット上の情報を利用した」、「インターネットを使って授業課題を受けたり提出したりした」で、80 % 以上が「ときどきあった」または「ひんぱんにあった」と回答している。このことから、インターネットを活用して学習する学生が多いことがわかる。インターネットに親和性が高く、インターネットを学修の方法のひとつとしてさらに活用していくことが期待できる一方で、インターネットの使い方やその注意点などについてもしっかり教えていく必要があると考えられる。

また、「授業をつまらなく感じた」について、「ひんぱんにあった」または「ときどきあった」の回答が 75 % 以上と高く、その詳細を細かく分析・検討する必要があると考えられる。

(3) 入学以来、あなたは次の活動に 1 週間当たりどのくらいの時間を費やしましたか

「部活動や同好会に参加する」、「大学外でアルバイトや仕事をする」について「全然ない」が 40 % 以上と相対的に高い割合であった。また「ボランティア活動に参加する」については「全然ない」が 82 % であった。その一方で「個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）」、「メール、Facebook、LINE 等の利用」時間が相対的に多かった。このことから、大学内外で他者と交流・活動するよりは、自分自身の好きなことをする時間を大切にしたい学生が多いことがうかがえる。比較的時間に余裕のある 1 年生で上記のような結果であったため、学年が進むにつれさらに顕著になる可能性が考えられる。看護学部では学年が進行するにつれて、同学年同士、他学年との実際の交流の機会をもうけていきたいと考えている。

「部活動や同好会に参加する」、「大学外でアルバイトや仕事をする」に費やす時間が少ないからといって、授業時間以外に勉強や宿題をやっているというわけではなく、学生の半数以上が週に5時間以下（つまり、1日1時間以下）しか授業時間以外の学修時間を確保していない。これは1単位に必要な授業時間を考えると、授業外学習時間が極端に少ないことがわかる。授業時間以外に学習習慣を持たない学生が多いということを意味しており、授業時間以外での学習習慣を身につけることが重要であると考えられる。「オフィスアワーなど、授業時間外に教員に質問する」についても「全然ない」と回答する割合が高い。看護学部では学年が進行するにつれて、演習科目、実習科目が多くなることから、今後の教員の対応に期待したい。

「平日（授業のある日）に予習・復習を行う主な時間帯」については「帰宅後」が50%以上であり、自宅で学習している学生が多いことがわかる。図書館の開館時間の制限や新学部のための改築工事で学生が自由に学習できる部屋が少ない等、大学内で自習する環境が整っていないことも要因の一つであると考えられる。看護学部では学生が自主的に勉強できる部屋の確保を支援していきたい。

（４）入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか

「大きく増えた」、「増えた」と回答した割合が約80%以上と高かった項目が「専門分野や科学の知識」、「コンピュータの操作能力」、「他の人と協力して物事を遂行する能力」である。「コンピュータの操作能力」については、電子教科書の使用や、manab@IMUを活用した授業の効果によるものも大きいと考えられる。また、フレッシュャーズセミナー等の科目において、グループディスカッションを通して意見をまとめ、チームで協力してプレゼンをするということを通して培われている可能性も考えられる。

その一方で、「変化なし」または「減った」または「大きく減った」と回答した割合が、他項目と比較し相対的に高い(70%以上)項目が「異文化の人々と協力する能力」、「外国語の運用能力」、「数理的な能力」である。英語は必修の全学共通教育科目として学修しているが、その学修効果を発揮する機会や場が少ないことが考えられる。異文化の人々の交流などについては、いわき明星大学地域連携協議会での取り組みが有効となるのではないかと期待している。

【看護学部】

2. 大学における学習状況について

(1) あなたが受講した大学の授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか

A. 実験・実習・フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ



B. 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ



C. 授業内容と社会や日常生活の関わりについて教員が説明する



D. 授業の一環でボランティア活動をする



E. 学生自身が文献や資料を調べる



F. 定期的に小テストやレポートが課される



G. 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する



H. 学生が自分の考えや研究を発表する



I. 授業中に学生同士が議論をする



J. 授業で検討するテーマを学生が設定する



K. 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる



L. 取りたい授業を履修登録できなかった



M. 出席することが重視される



N. SA・TA（上級生や大学院生の授業補助者）から補助を受ける



(2) 大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらいしましたか
A. 授業課題のために図書館の資料を利用した



B. 授業課題のためにインターネット上の情報を利用した



C. インターネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした



D. 提出期限までに授業課題を完成できなかった



E. 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした



F. 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた



G. 授業を欠席した



H. 授業に遅刻した



I. 授業をつまらなく感じた



J. 授業中に居眠りをした



K. 教員の研究プロジェクトに参加した



L. 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した



M. 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした

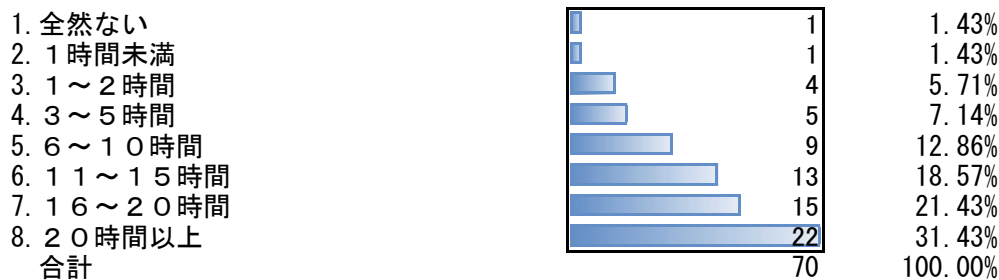


N. 教員に親近感を感じた

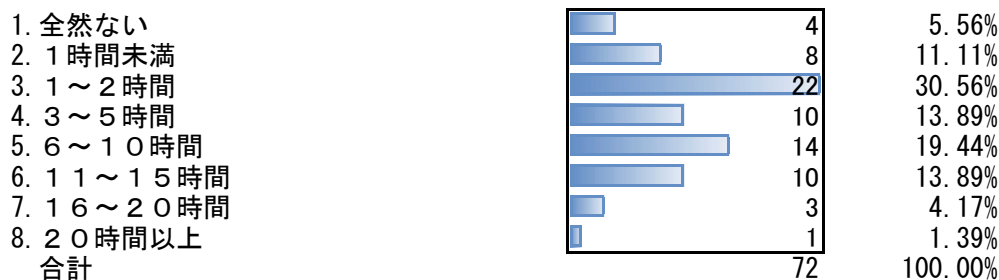


(3) 入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか。

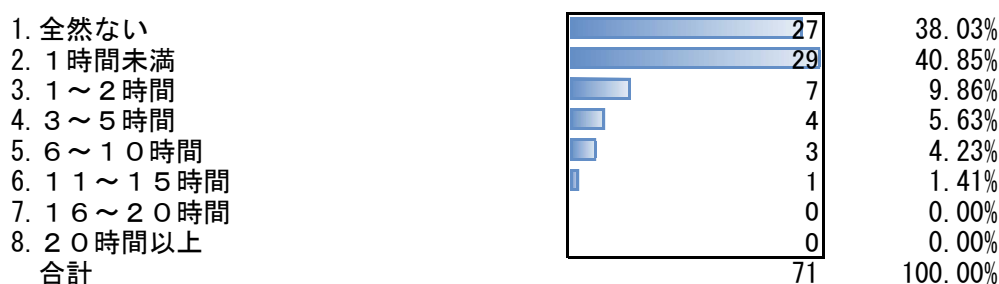
A. 授業や実験に出る



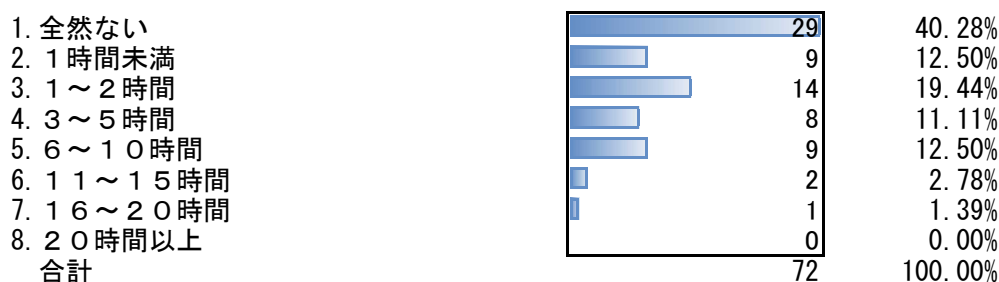
B. 授業時間以外に勉強や宿題をする



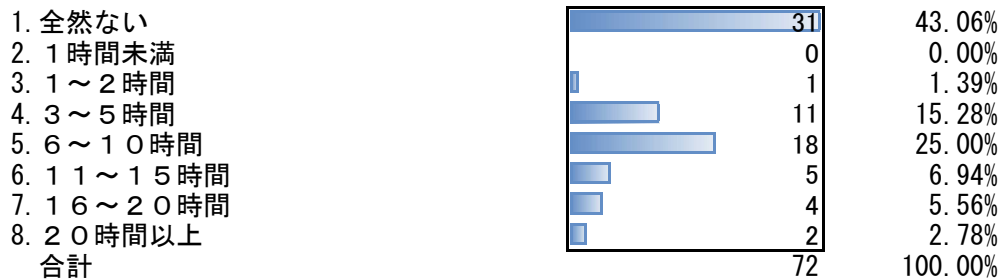
C. オフィスアワーなど、授業時間外に教員に質問する



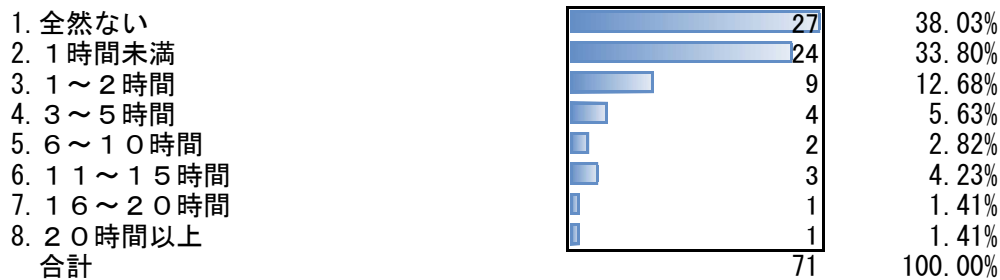
D. 部活動や同好会に参加する



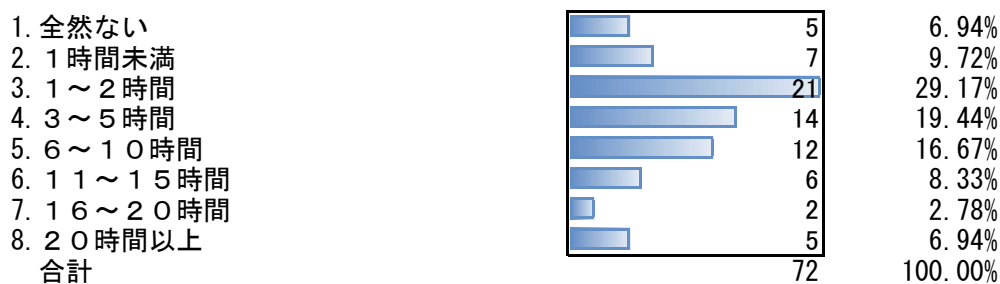
E. 大学外でアルバイトや仕事をする



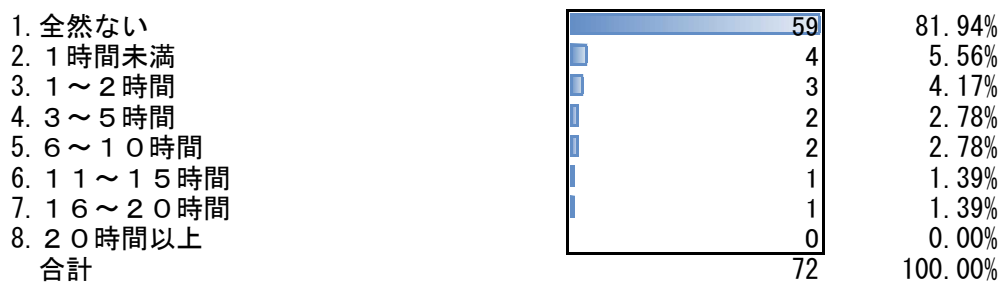
F. 読書をする（マンガ・雑誌を除く）



G. 個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）



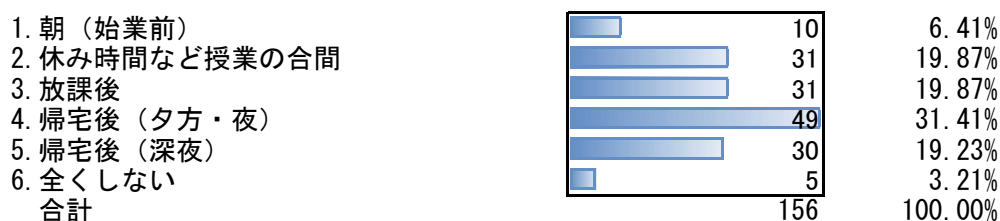
H. ボランティア活動に参加する



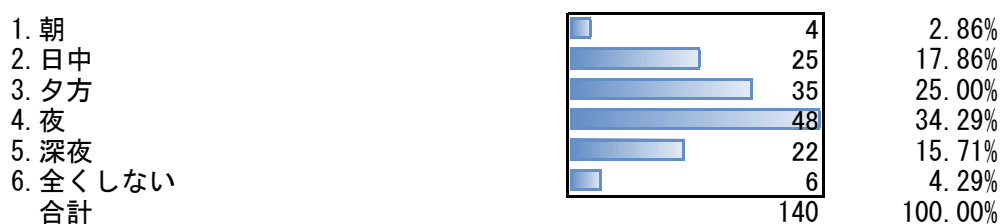
I. メール、Facebook、LINE等の利用



J. 平日（授業のある日）に予習・復習を行う主な時間帯（あてはまるものをすべて選んでください。）

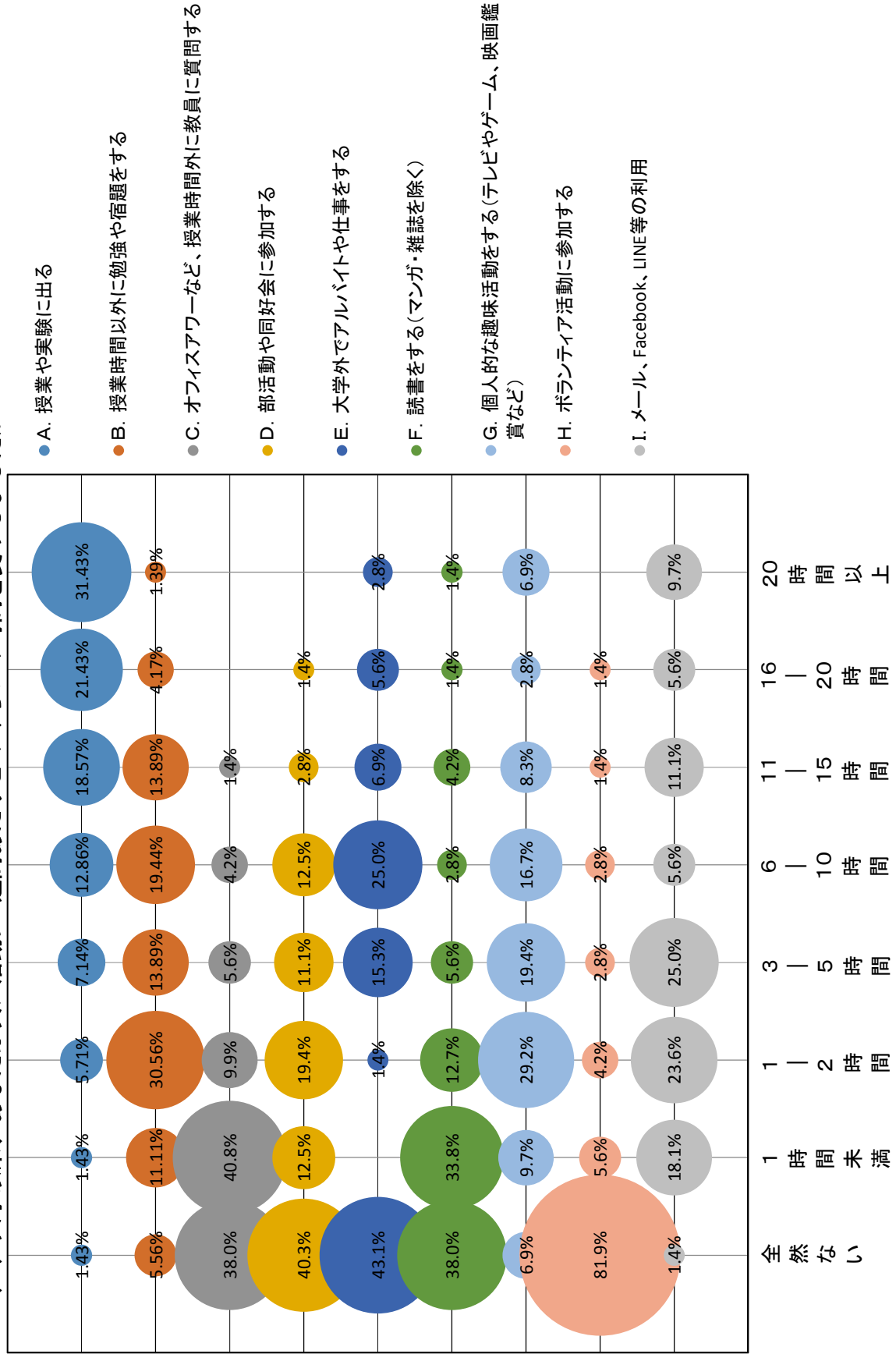


K. 休日（授業のない日）に予習・復習を行う主な時間帯（あてはまるものをすべて選んでください。）



【看護学部】

H29（3）入学以来、あなたは次ン活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか



(4) 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。

A. 一般的な教養



B. 分析力や問題解決能力



C. 専門分野や学科の知識



D. 批判的に考える能力



E. 異文化の人々に関する知識



F. リーダーシップの能力



G. 人間関係を構築する能力



H. 他の人と協力して物事を遂行する能力



I. 異文化の人々と協力する能力



J. 地域社会が直面する問題を理解する能力



K. 国民が直面する問題を理解する能力



L. 文章表現の能力



M. 外国語の運用能力



N. コミュニケーションの能力



O. プレゼンテーションの能力



P. 数理的な能力



Q. コンピュータの操作能力



R. 時間を有効に利用する能力



S. グローバルな問題の理解



T. 卒業後に就職するための準備の程度



付録

1. 大学に入学する前や高校時代のことについて （全学部：1年生のみ）

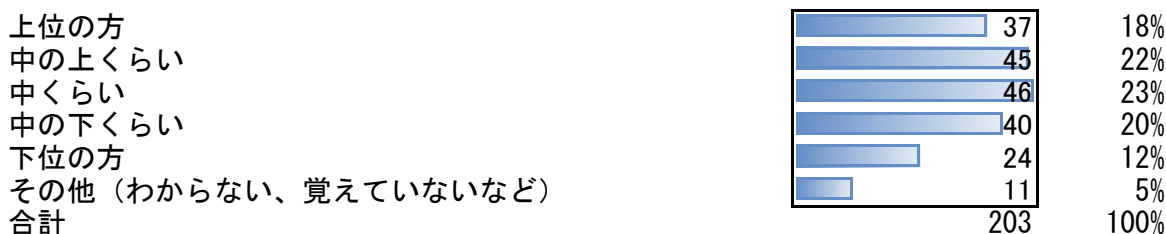
(1) あなたは志望大学の中で、本学は第1志望でしたか。



(2) あなたは現役で本学に入学しましたか。



(3) あなたの高校での成績はどのあたりでしたか。



(4) あなたが高校3年生だった時、次のことがらをどの程度しましたか。

A. 授業中、質問をした



B. 自分の意見を論理的に主張した



C. 問題の解決方法を模索し、それを他者に説明した



D. 自発的に作文の練習をした



E. インターネット上の情報が事実かどうか確認した



F. 困難なことにあえて挑戦した



G. 問題に対処するために新しい解決策を求めた



H. 科学的（自然・人文など）研究の記事や論文を読んだ



I. 授業以外に興味のあることを自分で勉強した



J. 自分の失敗から学んだ



K. 自分が取り組んだ課題について教師に意見を求めた



3. 大学の学びに関する満足度について

(1) あなたは、本学の教育内容にどれくらい満足していますか。

A. 全学共通教育の授業



B. 初年次生を対象とした教育プログラム内容 (フレッシュヤーズセミナー1・2、イグナイト教育1A・1Bなど)



C. 授業の全体の質



D. 日常生活と授業内容との関連



E. 将来の仕事と授業内容の結びつき



F. 教員と話をする機会



G. 個別の学習指導や援助（履修相談など）



H. 他の学生と話をする機会



I. 大学の中での学生同士の一体感



J. 多様な考え方を認めあう雰囲気



K. 大学での経験全般について



L. 1つの授業を履修する学生数



(2) あなたは、本学の施設や学生支援制度にどの程度満足していますか。

A. 図書館・学習センター（蔵書や学習スペースなど）



B. 実験室の設備や器具



C. コンピュータの施設や設備



D. コンピュータの訓練や援助



E. インターネットの使いやすさ



F. 奨学金など学費援助の制度



G. 健康保健サービス（心身の健康に関わる問題についての診療や相談）



H. 体育施設



I. キャリアカウンセリング（就職や進学に関する相談）



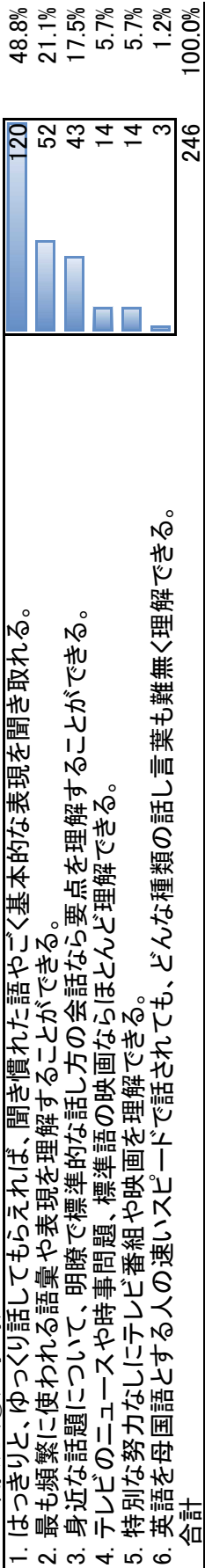
J. 厚生館施設



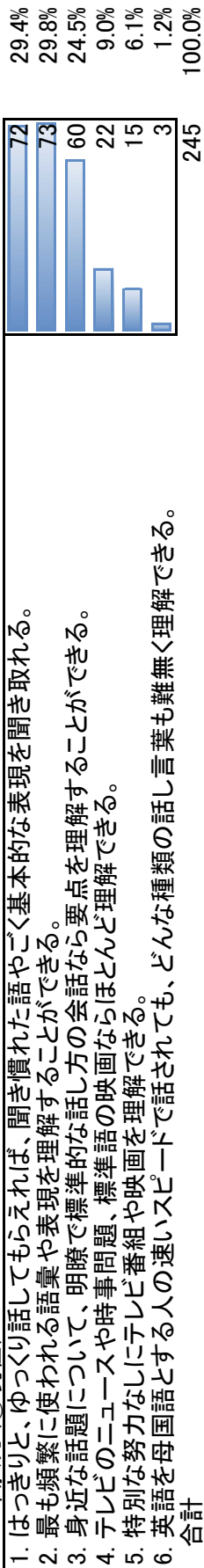
4. 英語の学習状況について（全学部）

(1) あなたの英語能力をA. 聞く力、B. 読む力、C. 会話力、D. 表現力、E. 書く力の5つの観点から自己評価した場合に、到達していると思うレベルを、①入学時と②現在それぞれについて1つずつ答えてください。

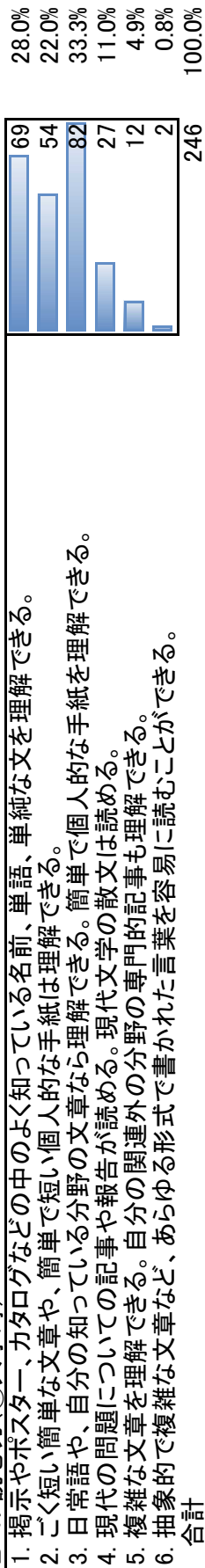
A-1. 聞く力(①入学時)



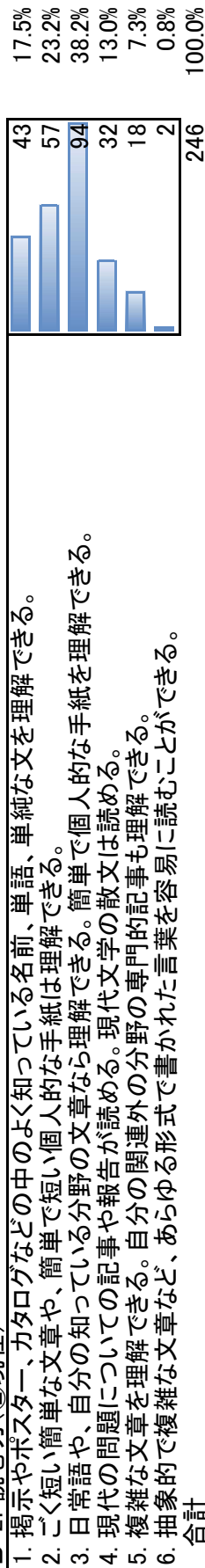
A-2. 聞く力(②現在)

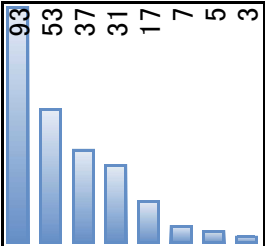
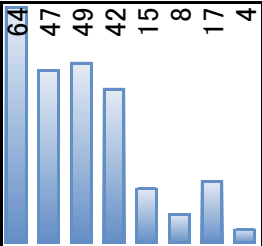
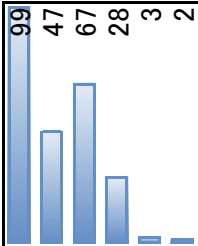
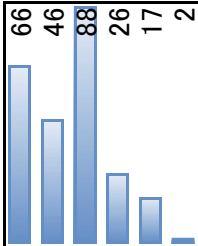


B-1. 読む力(①入学時)

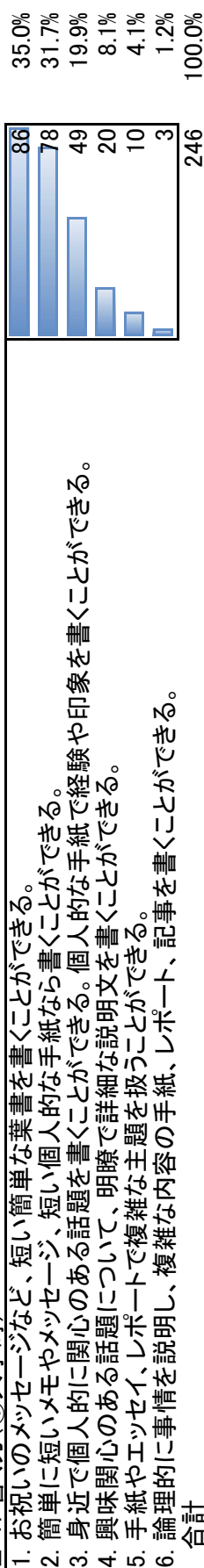


B-2. 読む力(②現在)

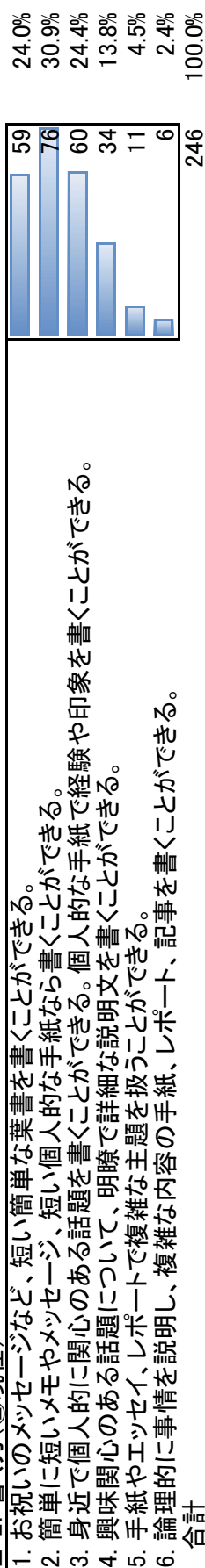


C-1. 会話力(①入学時)		
1. 決まった言い回しを使って自己紹介をしたり、相手の趣味を尋ねたりできる。		37.8%
2. 家族や身の回りのことについて、簡単な質問なら聞いたり答えたりできる。		21.5%
3. 短い社交的なやり取りができる。ひとりで会話を続けにくいのが、相手の助け舟で、身近な話題について話し続けられる。		15.0%
4. 準備をすれば、日常的でなじみのある話題について、簡単な言葉を使ってまとまりのある会話が話ができる。		12.6%
5. 日常生活に直接関係のあることや個人的な関心について、準備なしで会話が話ができる。		6.9%
6. 身近な話題の議論に積極的に参加し、自分の意見を説明できる。		2.8%
7. 社会上、目的・場面に合った言葉遣いができ、自分の考えや意見を正確に表現できる。		2.0%
8. いかなる会話や議論でも努力しないで加わることができる。		1.2%
合計	246	100.0%
C-2. 会話力(②現在)		
1. 決まった言い回しを使って自己紹介をしたり、相手の趣味を尋ねたりできる。		26.0%
2. 家族や身の回りのことについて、簡単な質問なら聞いたり答えたりできる。		19.1%
3. 短い社交的なやり取りができる。ひとりで会話を続けにくいのが、相手の助け舟で、身近な話題について話し続けられる。		19.9%
4. 準備をすれば、日常的でなじみのある話題について、簡単な言葉を使ってまとまりのある会話が話ができる。		17.1%
5. 日常生活に直接関係のあることや個人的な関心について、準備なしで会話が話ができる。		6.1%
6. 身近な話題の議論に積極的に参加し、自分の意見を説明できる。		3.3%
7. 社会上、目的・場面に合った言葉遣いができ、自分の考えや意見を正確に表現できる。		6.9%
8. いかなる会話や議論でも努力しないで加わることができる。		1.6%
合計	246	100.0%
D-1. 表現力(①入学時)		
1. 住んでいるところ、また、知っている人たちについて、簡単な語句や文を使って表現できる。		40.2%
2. 家族、周囲の人々、居住条件を簡単な言葉で説明できる。		19.1%
3. 簡単な方法で語句をつないで、自分の経験や出来事、夢や希望、目標を語ることができる。		27.2%
4. 興味関心のある話題について、明瞭で詳細な説明ができる。		11.4%
5. 複雑な話題を、一定の観点を展開しながら、適切な結論でまとめ上げることができる。		1.2%
6. 論理的な会話を聞き手に重要な点を把握させ、記憶にとどめさせることができる。		0.8%
合計	246	100.0%
D-2. 表現力(②現在)		
1. 住んでいるところ、また、知っている人たちについて、簡単な語句や文を使って表現できる。		26.9%
2. 家族、周囲の人々、居住条件を簡単な言葉で説明できる。		18.8%
3. 簡単な方法で語句をつないで、自分の経験や出来事、夢や希望、目標を語ることができる。		35.9%
4. 興味関心のある話題について、明瞭で詳細な説明ができる。		10.6%
5. 複雑な話題を、一定の観点を展開しながら、適切な結論でまとめ上げることができる。		6.9%
6. 論理的な会話を聞き手に重要な点を把握させ、記憶にとどめさせることができる。		0.8%
合計	245	100.0%

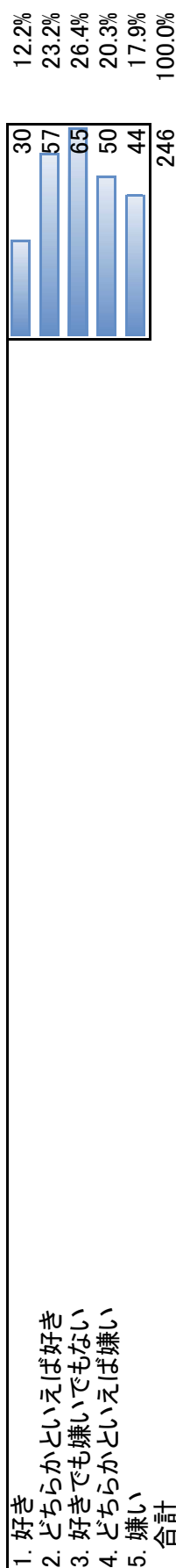
E-1. 書く力(①入学時)



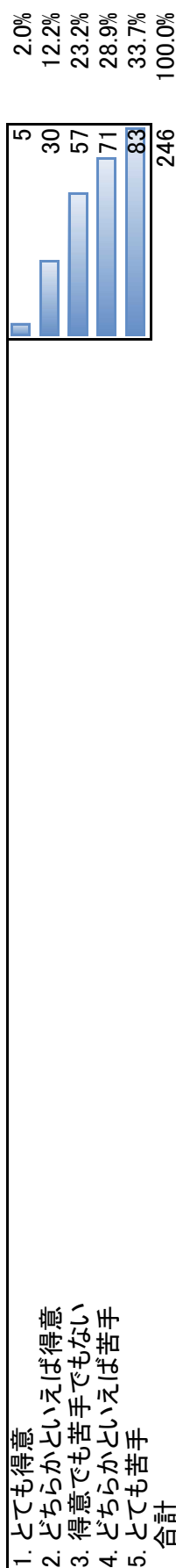
E-2. 書く力(②現在)



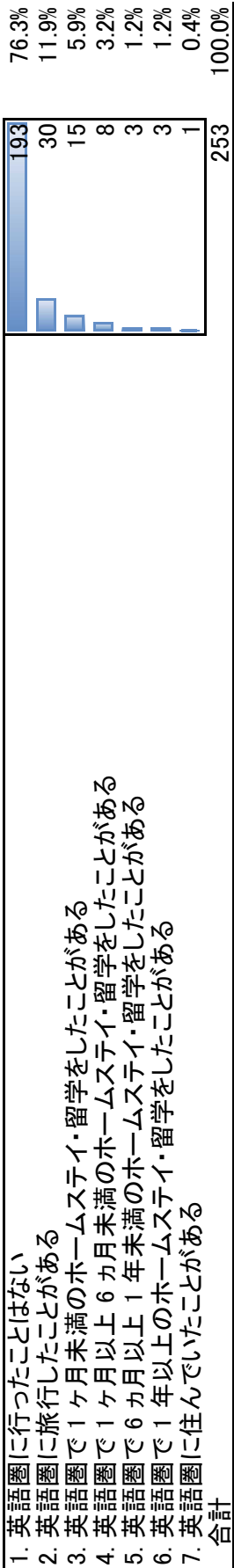
(2) あなたは英語が好きですか。



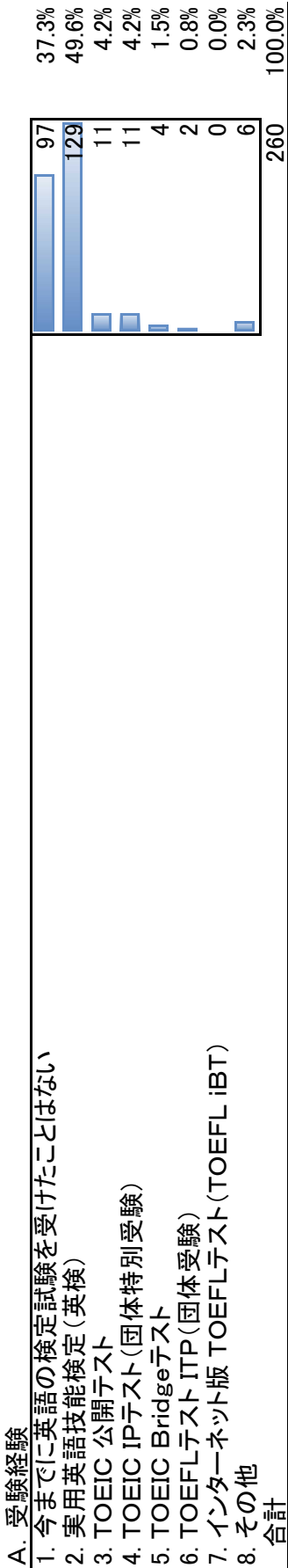
(3) あなたは英語が得意ですか。



(4) アメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランドなど英語圏への渡航経験についておうかがいします。
あてはまるものをすべて選んでください。



(5) あなたが、今までに受験したことのある英語の検定試験についておうかがいします。あてはまるものをすべて選び、
それぞれの試験について取得したスコアまたは級のなかで最も高いものを教えてください。



B. 取得したスコアまたは級のなかで最も高いもの

